

KDDI スマホ・ケータイ安全教室

保護者



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

みなさん、こんにちは。KDDIスマホ・ケータイ安全教室講師の〇〇です。
本日は、お子さまのケータイ電話やスマートフォンの使い方について、皆さんと一緒に
考えていきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

本日の講座

1

子どもたちのネット利用の現状

2

子どもたちのトラブル

・トラブル実例のご紹介、リスク回避のポイント

3

ペアレンタルコントロール

・あんしんフィルターとスクリーンタイム

4

最後に

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

本日の講座では、この4つの内容についてお話しをさせて頂きます。

1つ目は、子どもたちのネット利用の現状について、いくつかの調査結果をご紹介しながらお伝えしていきます。

2つ目は、子どもたちがどんなトラブルに巻き込まれているのかについて、ご紹介します。実際に起こった事件・トラブルをもとにした動画をご視聴頂きながら、リスク回避のためのポイントをお話しします。

3つ目は、子どもたちを守るためのサポートツール「ペアレンタルコントロール」についてご紹介します。

そして最後に、困った時どうしたらいいのかについて、お話しします。

長時間になりますが、どうぞよろしくお願ひします。

本日の講座

1

子どもたちのネット利用の現状

2

子どもたちのトラブル

・トラブル実例のご紹介、リスク回避のポイント

3

ペアレンタルコントロール

・あんしんフィルターとスクリーンタイム

4

最後に

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

それでは、1つ目の「子どもたちのネット利用の現状」について、お話ししていきます。

子どもたちにとってのネットは



学校で

家庭・塾で

インターネットを使った
授業や勉強・宿題など

身近なもの

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

コロナ禍により加速したGIGAスクール構想による学校内でのネット環境の整備、タブレット配布により、

タブレットを利用した授業や調べ学習、宿題など、学校・ご家庭でのネット利用が日常のものになってきています。

そのため、子どもたちにとって、ネットは身近なものになっています。

自動運転や遠隔医療、自動翻訳、キャッシュレス決済などネットを介した世界を歩むであろう子どもたちにとって、上手く使いこなしていくことが今後求められていくのではないかでしょうか。

ネットの利用状況

■主な利用機器

ネット利用率
9割超

学校配布端末、ゲーム機、スマホ

■主な利用内容

動画視聴、ゲーム、検索、勉強

出典:こども家庭庁 令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査(令和7年2月)

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

こども家庭庁が発表した子どもたちのネット利用の調査によるとネットの利用率は小学生から9割を超え、

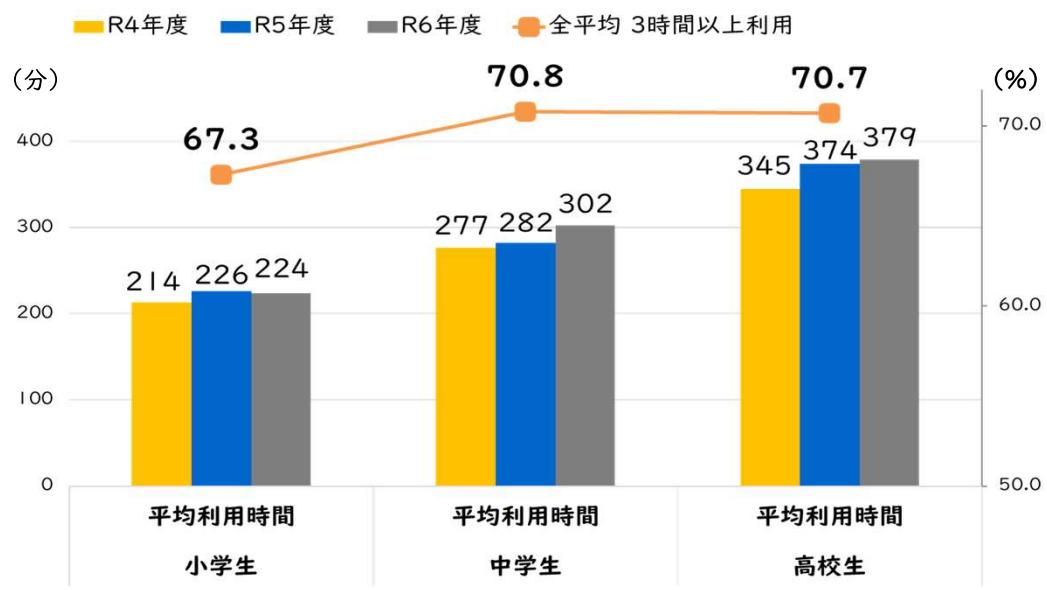
また小学生では学校配布の端末とゲーム機、中学生では、スマホと学校配布の端末、高校生ではスマホをネット利用時の主な機器になっています。

小学生、中学生、高校生すべての校種において、動画視聴、ゲーム、検索の利用が高く、また、勉強での利用頻度も増加傾向にあります。

- ・【速報】 令和7年2月公表予定
 - ・【概要】 令和7年3月公表予定
 - ・【報告書】 令和7年3月公表予定
- https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyou/internet_research/results-etc/

ネットの利用状況

■利用時間



出典:こども家庭庁 令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査(令和7年2月)

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

またインターネットの平均利用時間は、前年度と比べ約5分増加し、約5時間2分。

校種別にみると、小学生(10歳以上)は、約3時間44分。中学生は、約5時間2分。高校生は、約6時間19分。

3時間以上の利用は70%を超えてます。

また目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、約3時間1分となりました。

このように、子どもたちのネット利用は日常的なことになりつつあります。その一方でトラブル・事件も増えています。

- ・【速報】 令和7年2月公表予定
 - ・【概要】 令和7年3月公表予定
 - ・【報告書】 令和7年3月公表予定
- https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyou/internet_research/results-etc/

ネットを介したトラブル・事件

小学生

SNSを介したいじめ、性的被害や誘拐、
依存や高額課金トラブル

中学生

SNSを介して誘拐、性的暴行の被害
脅迫メール送付で、書類送検
キャッシュカードをだまし取ろうとし、逮捕

高校生

写真の無断投こうでトラブル・殺害される
「受け子」「出し子」を繰り返し、逮捕

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これは、ネットを介したトラブルや事件の一例です。

保護者の皆さんも記憶にあるものもあるかと思います。毎年子どもたちをターゲットにしたネットでの様々なトラブル・事件が起こっています。

(参考)

小学生:ニュースデータはあまり残っていないため、一般的な事例を掲載。

中学生:中学生を誘拐、性的暴行 容疑で男を再逮捕 SNSで誘い出す(24年9月)

<https://ryukyushimpo.jp/news/national/entry-3464696.html>

12月アドバイザーレポート

東京・池袋の乗用車暴走事故で妻子を亡くした松永拓也さんに脅迫メールを送ったとして、警視庁が中学3年の14歳の女子生徒を東京地検に書類送検した。

地元の先輩から「闇バイト」に誘われた中学生、詐欺未遂容疑で逮捕…「クリスマスでお金必要だった」

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20241217-OYT1T50162/>

高校生:2024年旭川市で17歳の女子高校生が殺害される。

<https://www.uhb.jp/news/single.html?id=43269>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%AD%E5%B7%9D%E5%A5%B3%E5%AD%90%E9%AB%98%E7%94%9F%E6%AE%BA%E4%BA%BA%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

埼玉 女子高校生「闇バイト」応募し特殊詐欺関与の疑いで検挙

<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20241213/1000112092.html>

・3行目 柏市の女子高生殺害される、レンタカーに遺体遺棄(23年10月)

<https://www.fnn.jp/articles/-/604531>

スマホ・ネットは身近なもの



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

スマホやネットは動画や教育アプリなど、子どもたちの利用頻度は高く、とても身近なものです。

しかし、さまざまなトラブルを引き起こしていしまう、また事件に巻き込まれる可能性もあります。

スマホ・ネットは身近なもの



大切なのは使い方



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

あくまでもスマホやネットは道具ですので、
トラブルに巻き込まれることなく、スマホやネットの便利な機能を使っていくために必要なことは、「正しく使いこなす」ということです。

今後ネット社会で生きていく子どもたちが、
スマホ・ネットを正しく使いこなせるように、保護者の皆さんには責務が課せられていることをご存知でしょうか。

法律上の扱い(18歳未満)

- ①利用状況の把握
- ②利用の適切な管理
(フィルタリング等の活用による)
- ③適切に活用する教育

青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律
(平成二十年六月十八日法律第七十九号)

保護者の責務

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

18歳未満の子どものインターネット利用について適切に管理することは、
(これにはスマホだけでなく、タブレットやゲーム機なども含まれますが)法律で定められています。

子どもたちのインターネット利用状況の把握、フィルタリング等の利用による適切な管理、
そして適切に活用する教育、これらは保護者の方が責任をもって果たす必要があります。
実際に、子どものトラブルで、保護者が責任を問われた事件も起こっています。(※)
どんな危険性があるのかを保護者がしっかりと把握し、トラブル回避に必要な手段や方法を理解し、実行していくことが必要です。

(※)動画の拡散、元同級生と保護者へ賠償金

<https://www.asahi.com/articles/ASN3T6GCJN3TOIPE01F.html>

おさえるべきポイント

危険性を把握
子どもと共有

リスクを回避する
知識・ルール

子どもの
話し合いで

フィルタリング・スクリーンタイム
ペアレンタル
コントロール

話し合い、相談できる環境づくりを

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

では、大人はどのように子どもたちのスマホ環境に向き合っていけば良いのでしょうか。

抑えるべきポイントは、最新アプリの名前や操作方法を覚えることではなく、

「ネットにはどんな危険があるか」、「何に気をつければ良いか」、まずはその危険性をしっかりと大人が知るということです。

その上で、ネットの危険性や知識を子どもと共有し、しっかりと子どもと話し合いながら、自分自身で危険を回避していくようルールを作り、フィルタリングなどのペアレンタルコントロール機能を活用することが大切です。

危険性の共有やルールづくり、ペアレンタルコントールなどスマホ利用について、子どもたちとしっかりとコミュニケーションを取り、

そして何か困ったらおうちの人と相談できる、そういういった環境をぜひ整えていただきたいと思います。

本日の講座

1

子どもたちのネット利用の現状

2

子どもたちのトラブル

・トラブル実例のご紹介、リスク回避のポイント

3

ペアレンタルコントロール

・あんしんフィルターとスクリーンタイム

4

最後に

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

それではまず、危険性を把握するために、スマホやネットを利用したトラブルに、どのようなものがあるのか見ていきましょう。

代表的なトラブル

人間関係

いじめ、誹謗中傷
文字でのトラブル

出会い・犯罪

性犯罪、誘拐
詐欺、脅し

依存

長時間利用
高額課金

炎上など

不適切・迷惑動画
無断投稿

その他:個人情報流出、有害サイトなど

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

代表的なトラブルとして、大きく4つに分類することができます。

まずは人間関係。チャットなどの文字コミュニケーションによるトラブル、いじめが挙げられます。

次に、依存。依存は、長時間利用と高額課金など、睡眠時間などの生活リズムに影響を及ぼす場合もあります。

そして出会い・犯罪。知らない人ともすぐにつながることができることによる犯罪・誘拐。また、不適切な動画や無断投稿による炎上などのトラブルがあげられます。

実際に起こったトラブルを元にした動画を用意してきました。

今回は、この代表的なトラブルの中の「●●」と「●●」について、動画を視聴頂きながら、詳細をお話ししていきます。

※トラブルを2-3動画を選択してください。

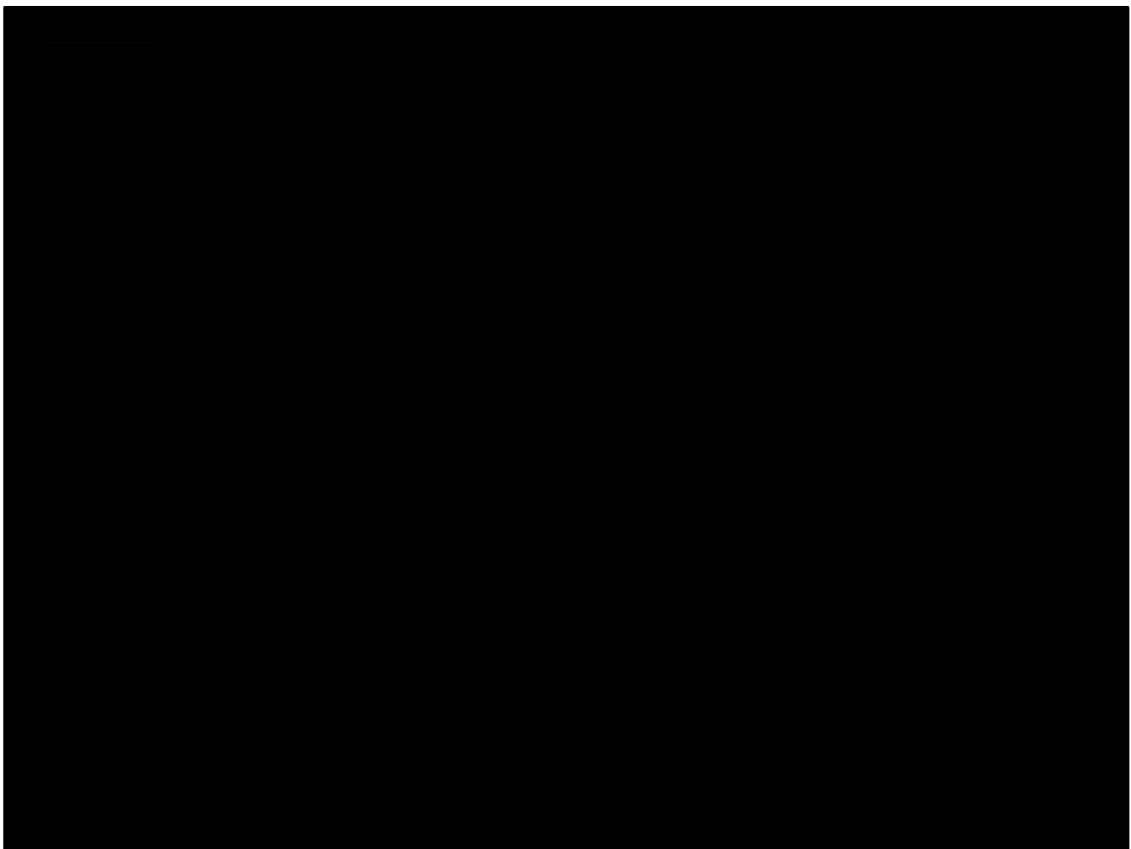
人間関係 なんで来るの？

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

<「人間関係」「依存」「出会い・犯罪」「炎上」から深堀するテーマを選択して説明してください。

使わないスライドは、スライド一覧で右クリック「非表示スライドに設定」で表示スキップできます>

「人間関係」についてお話しします。
まずは、こちらの動画をご覧ください。



登場人物



えみ子



ユキ



一郎



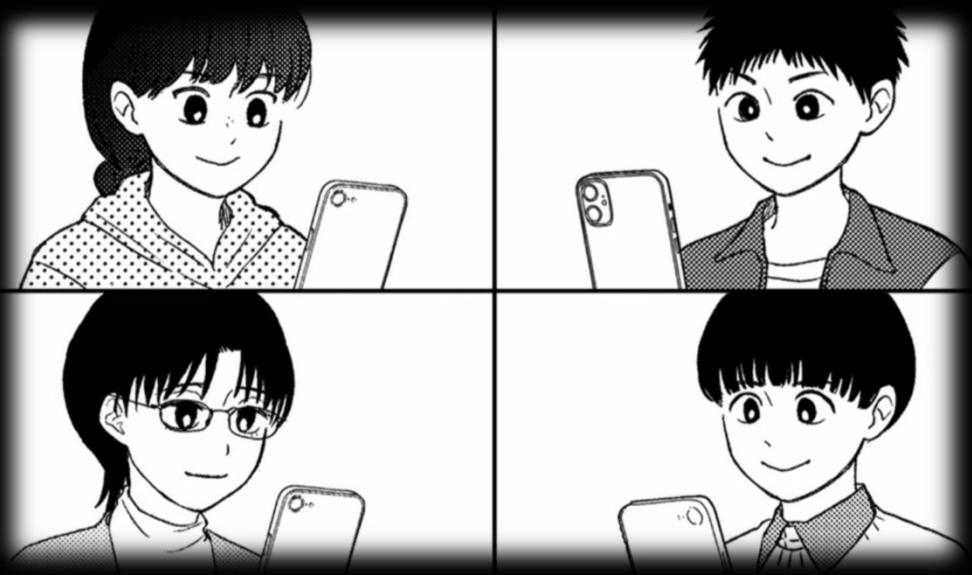
タツヤ

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

それでは、動画の振り返りをしていきましょう。

振り返り

みんなで映画へ

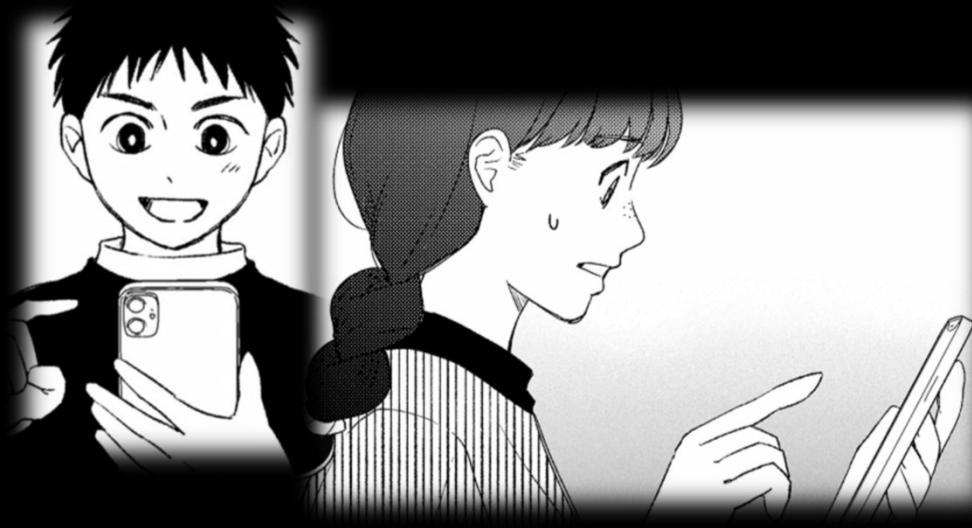


Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

クラスの友だち4人は、
テストが終わったら、みんなで映画を見に行く話をしていましたね。
ところが…

振り返り

かんちが
違？！



なんで来るの？

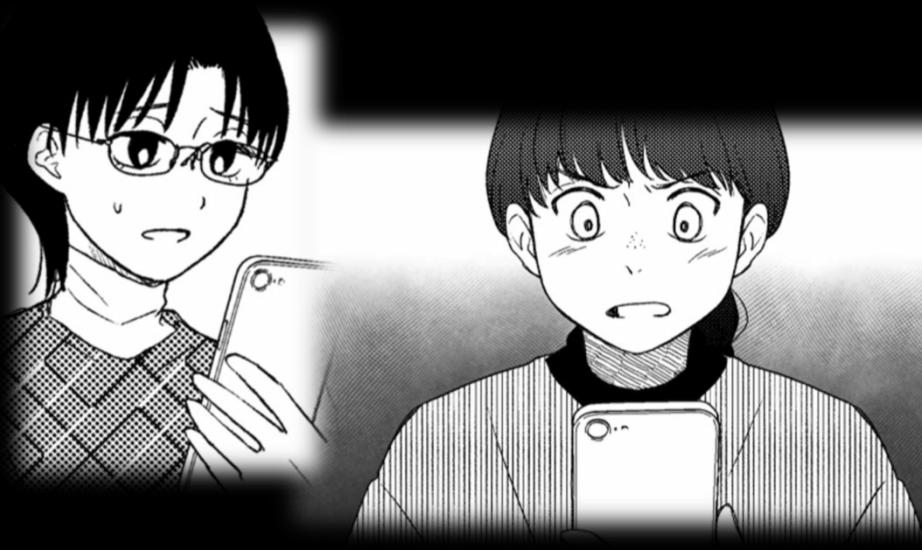
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

映画館までどういう手段を使って行くのか話していた一郎が「なんで来るの？」とえみ子に送ります。

さらに…

振り返り

かんちが
い？！



友だちじゃない

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ユキが、友達なんだから一緒に行こうという気持ちで書いた「友だちじゃない」という文字に、えみ子は怒ってしまいまいした。

振り返り

怒ったまま



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

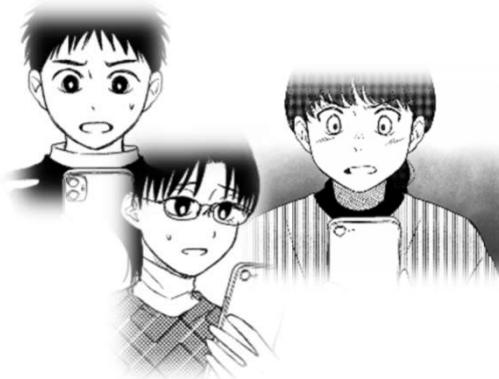
次の日学校でも

友だちは、えみ子がなぜ映画へ行かないといったのか、どうして怒っているのか分からず、

友だちとえみ子との仲は戻らないままでしたね。

こういったトラブルが子どもたちの中で起きています。

文字のやり取り



直接
顔を合わせない
かん違いしやすい

ケンカやいじめに
繋がることも

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

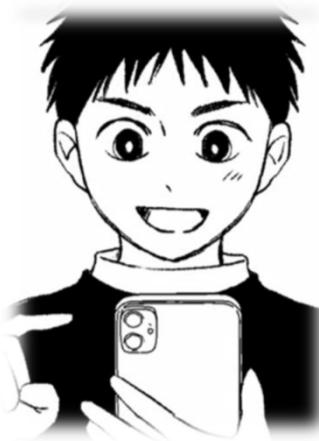
また、チャット等のやり取りは、直接顔を合わせません。

そのため、直接会って話せば、表情や声のトーン、身振り手振りなどで自然と伝わる気持ちや相手の状況が、

文字だけでは伝わらず、今回の動画のような勘違いでケンカになってしまふことも珍しくありません。

文字でのやり取りは、会話での言葉と伝わり方が全然違うということに、送る側も受け取る側も気を付けなければなりません。

文字のやり取り



なんで来るの？

たとえば



どんな方法で
映画館に行くの？

自転車で行くの？

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

なんで来るの？であれば

例えば、

「どんな方法で映画館まで行くの？」や「えみ子は自転車で行くの？」と具体的な手段を入れると誤解されにくいですよね。

文字のやり取り



友だちじゃない

たとえば



私たち
友だちだよね

友だちだよ 😊

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

友だちじゃないは、

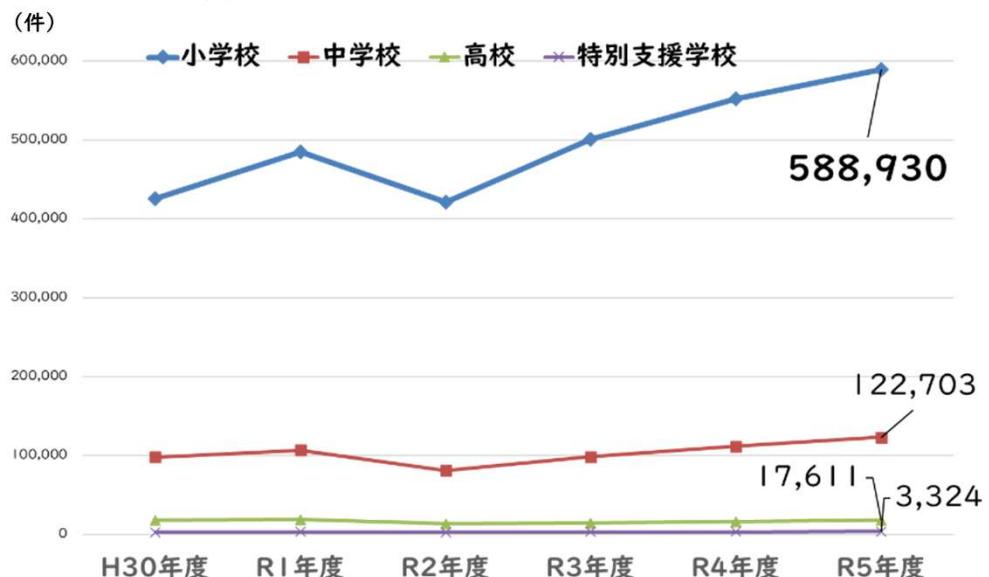
例えば、

文字に「友だちだよね」と肯定的な表現を使う、上向きの矢印や絵文字などを加えると、気持ちが正しく伝わるのではないかでしょうか。

文字だけでやり取りすることがまだ慣れていない子どもたちには、具体的な方法をしっかりと伝えていく必要があります。

いじめの認知件数の推移

■いじめ認知件数



出典:文部科学省 令和5年児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ここで、いじめの発生件数について、データを見ていきましょう。

文科省の調査結果では、いじめの発生件数が令和5年では73万人超と過去最多となっています。

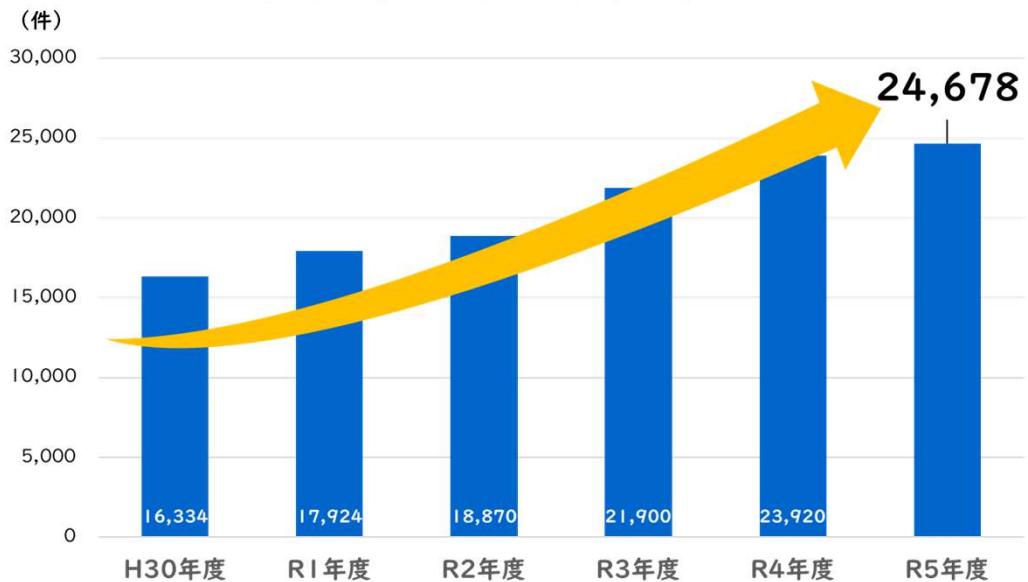
前年度に比べ50,620件(7.4%)増加、児童生徒1,000人当たりの認知件数は57.9件(前年度53.3件)。

特に小学校における発生件数が突出しており、**小学生のネット利用の一般化が要因の一つともいわれています。**

※R2の減少は、コロナ感染症による全国一斉休校など教育活動が制限されたことにより全校種で大幅な減少

いじめの態様

■パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる



出典:文部科学省 令和5年児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

またいじめの形態の中で「パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる。」の推移をピックアップしたものです。

件数は、小中高校、特別支援学校全体で24,678件と増加傾向は続いています。

また学校内でのいじめの早期発見・解消の傾向があるものの、SNS等のネット上のいじめなど、見えづらい事案が増加したと考えられています。

(文部科学省調査ポイントより)

https://www.mext.go.jp/content/20241031-mxt_jidou02-100002753_2_2.pdf

トラブルの実例

脅迫、威力業務妨害

脅迫メールの大量送付で書類送検

肖像権・プライバシー権の侵害

他人の写真無断投稿で賠償金

名誉毀損

中傷動画の投稿で、逮捕

侮辱罪

SNSで誹謗中傷の投稿をし、賠償金

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これはネットを介した実際のトラブル内容です。(1行目~3行目を読み上げる)
子どもたちだけではなく、大人も含め脅迫・威力業務妨害、肖像権・プライバシー権の侵害、名誉棄損、侮辱罪など、さまざまな罪に問われ、被害者・加害者ともに、名前、学校や会社名など様々な個人情報が拡散され続けています。

※22年7月 侮辱罪は改正刑法で「1年以下の懲役・禁錮または30万円以下の罰金」が追加。厳罰化している。

(参考)

・1行目 東京・池袋の乗用車暴走事故で妻子を亡くした松永拓也さんに脅迫メールを送ったとして、警視庁が中学3年の14歳の女子生徒を東京地検に書類送検した。
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20241128-OYT1T50041/>

・2行目 Twitterへの写真の無断投稿し、損害賠償47万1,500円の支払いを命ぜられる。

https://itbengo-pro.com/columns/190/#toc_anchor-1-4-1

・3行目 女性教諭を中傷する動画をSNSに投稿...15歳の男子中学生を逮捕 “名誉棄損”の疑い、12歳の男子生徒も共謀か

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1562660>

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1564089?display=1>

・4行目 SNSで教授侮辱の罪 県警の警察官に罰金30万円の略式命令

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/mito/20241105/1070025715.html>



トラブルを防ぐポイント

SNSでの注意点を共有 冷静な行動、 思いやりの大切さ

普段の生活と同じ

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

では、このようなトラブルを回避するには、どうしたら良いでしょうか。

まずは、SNSを利用する際に気を付けなければいけない点を、子どもに伝え、話し合いをしていくことです。

SNSでのやり取りは、感情がエスカレートしやすいです。トラブルが大きくなつてからでは、なかなか修復するのが大変です。

「あの時あんなことを書き込まなければよかった」と後悔しないためにも、直ぐに相手を責めたりするのではなく、

まずは冷静になるための行動を起こすことがとても大切です。その場から離れる、10秒数えるなども有効な方法です。

また子ども同士がSNSでのやり取りに固執することなく、直接会って話し合いをする、伝えることも大切ではないでしょうか。

そして、相手への思いやりを持つことです。

書きこむときには「こんなこと書いたら相手はどう思うかな?」「嫌な思いをする人はいるのか」しっかりとと考えながら、やり取りすることです。

これらのこととは、普段の生活でのやり取りと同じことですね。

自分で慎重に考えて判断し、行動する勇気を持てるように、ぜひ子どもたちに伝えてください。

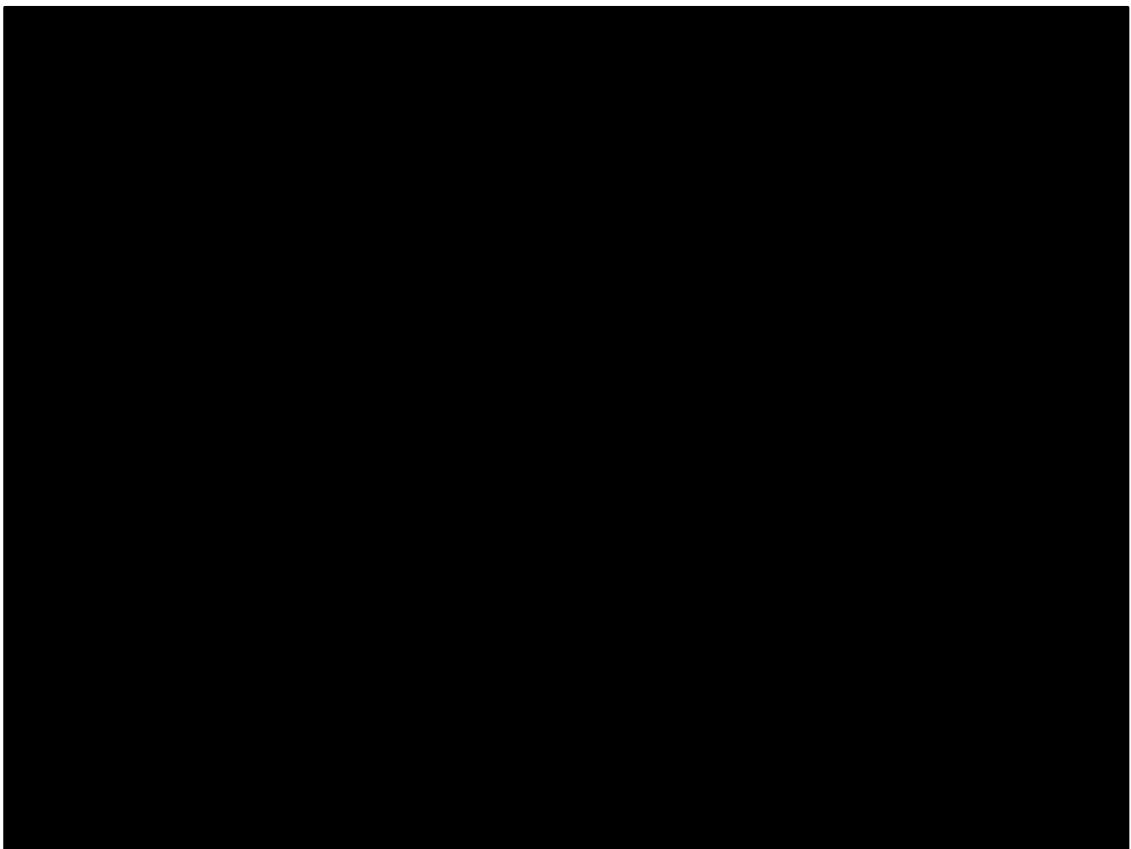
依存 推しのために

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

<「人間関係」「依存」「出会い・犯罪」「炎上」から深堀するテーマを選択して説明してください。

使わないスライドは、スライド一覧で右クリック「非表示スライドに設定」で表示スキップできます>

それでは依存の動画をご覧ください。



登場人物



健太

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

いかがでしたか？

それでは動画の振り返りをしていきましょう。

振り返り

将来に向けて



アキオ

akio_tsubuyaki

そろそろ受験だし、ゲームも控えよう
かなー



友だちも受験モードに

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

健太は高校3年生。

受験に向けて部活も引退し、友だちもこれから将来に向けて力を入れていく時期でしたね。

健太はさみしく感じながらも、塾に通ったり、しっかり勉強に取り組んでいました。

振り返り

マーヤの応援



息抜き ← → のめり込む

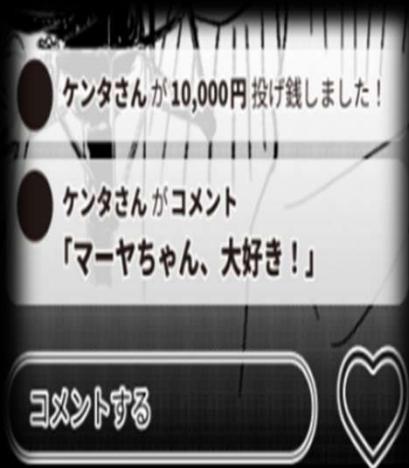
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

そんな健太の唯一の息抜きは、ネットアイドルのマーヤの応援。
ネット配信されるライブの時間をとても楽しみにしていましたね。

ところが、だんだんと応援に力がはいり、のめり込んでいきました。

振り返り

マーヤに夢中



頭から離れない 投げ銭にハマる

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

心の中はいつでもマーヤ。

学校でも塾でも、マーヤのことを考えるようになってしまいました。

そしてマーヤへの気持ちをお金に換えて伝えられる「投げ銭」にも夢中になっていきましたね。

ネット上で同じように投げ銭をする人たちにライバル心も芽生え、より一層投げ銭にはまっていきました。

そんなある日、マーヤのレアな写真が提示され、投げ銭の上位高額者にプレゼントされること…。

振り返り

写真を手に入れるため



塾の講習代も投げ銭に…

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

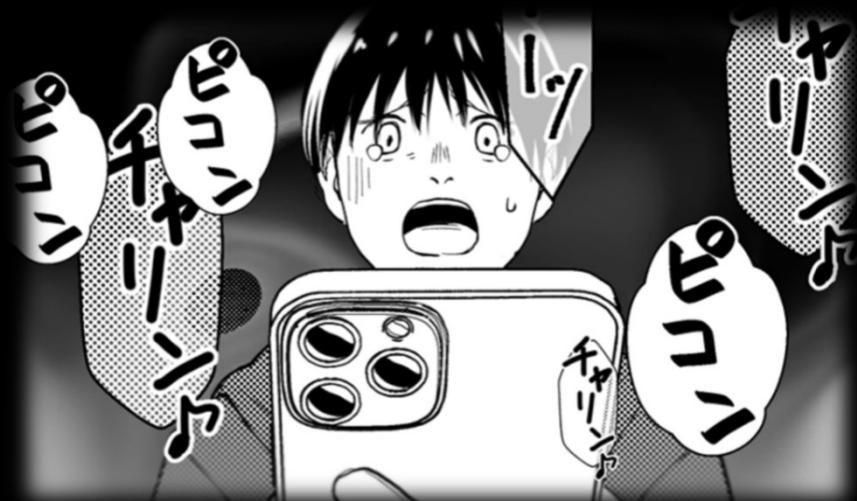
レアな写真を手に入れたいのはみんな同じ。

投げ銭の金額がだんだん跳ね上がっていきましたね。

健太は、欲しい気持ちを抑えきれず、ついに塾の講習代に手を付けてしました。

振り返り

ハマりすぎた結果



大きな代償が…

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

欲しかった写真が手に入り、マーヤのファンランキングもトップになりましたが、
講習代の使い込みは、お母さんに知られることになり大目玉。
また成績の低下、推薦が危ぶまれるなど、
ハマり過ぎた代償は大きく、健太は後悔することになってしまいましたね。

今、このような金銭を使ったトラブルが相次いでいる現状があります。

投げ銭（課金）による影響

競い合いで → 金銭トラブル

夢中になって → やめられない

生活・学業 → 支障をきたす

日常生活が困難に

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

投げ銭の競い合いによる高額のつぎ込みや、課金などによる多額のお金を捻出しようとすることによる金銭トラブル、

また夢中になって止められなくなり、生活や学業にも支障をきたしてしまう人たちが増えています。

こうした状態がひどくなると日常生活を送ることが困難になってしまいます。

※参考記事

2021年10月26日

NHKクローズアップ現代“投げ銭”急拡大 空前のブームで何が

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4599/>

投げ銭、課金によるトラブル実例

女子中学生

やめられなくなり、「パパ活」でお金を集める

男子中学生、高校生

親のクレジットカードで
500万円の投げ銭、55万円の課金

会社員男性

食費を切りつめ、1年半で120万円つぎ込む

久里浜医療センター

投げ銭が止められず、入院治療を受ける

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これは投げ銭によるトラブル実例です。(事例を読み上げる)

投げ銭によるトラブル相談の半数近くが未成年者といわれていますが、生活に支障をきたす大人もいるほど、大きな問題になってきています。

このような自分の意志でやめられない状態、これはネットへの「依存」と言えるのではないでしょうか。

※参考記事

2021年10月26日

NHKクローズアップ現代“投げ銭”急拡大 空前のブームで何が

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4599/>

(参考)

・親のカードで500万円使い込む高校生

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/ed8f3ee86918c0ddaa32458ca02c34e24503e943>

・こどものオンラインゲーム課金 相談事例 国民生活センター

https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20240313_1.html

ネットへの依存

やらずにいられない
正常な判断ができない
自分ではどうしようもない

ネット
依存

薬物
依存

アルコール
依存

治療



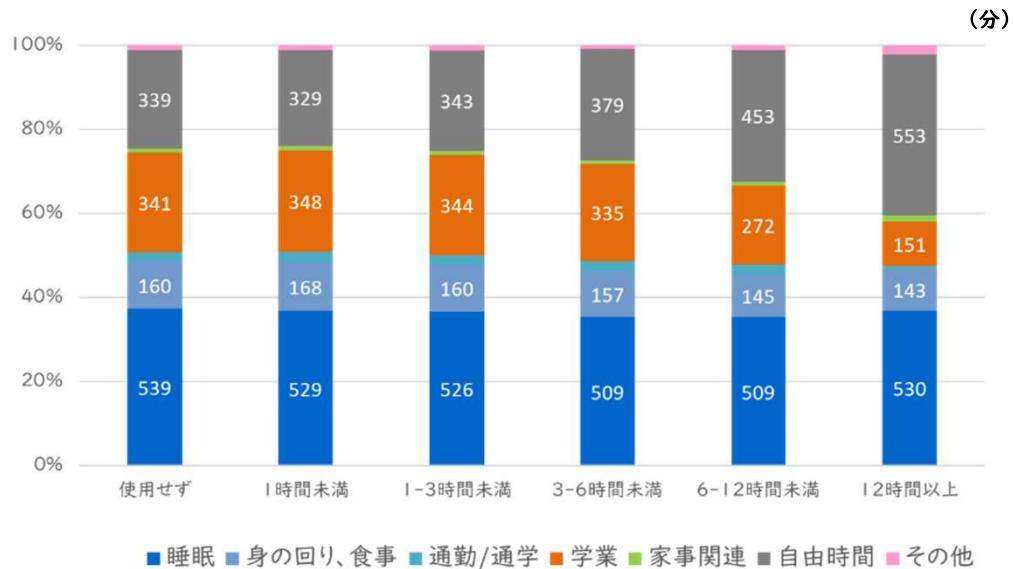
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

またさらにひどくなると、正常な判断ができず、自分ではどうしようもない、自分では改善しようがない状況になってしまいます。

中でもゲームへの依存は、海外で長時間やりすぎたことが原因で亡くなった人も出て問題となっており、
世界保健機関(WHO)が、ゲームへの依存を「ゲーム障害」として病気に認定しています。
(2019年5月20日認定、2022年からは保険適用になる)
アルコールや薬物への依存が病気であると同じように、病院での治療が必要になります。
ほんのちょっとのきっかけで、誰にでもなり得るものです。他人事ではありません。

子どもたちの利用時間

■スマホ、パソコンの利用とライフスタイルの関係(10-14歳)



出典:総務省 令和3年社会生活基本調査「スマートフォン・パソコンなどの使用時間別生活時間」

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

★小中学校での講座実施時の投影資料です★

これは、総務省統計局の「令和3年社会生活基本調査」(最新)の結果を用い、スマホやパソコンなどの使用時間とライフスタイルの関係を示したものです。

横軸:スマホ、パソコンの利用時間、数値は週全体での平均時間(分)、男女総数

※1日平均時間別の、週全体における生活時間

1日12時間以上もインターネットを使う人はごく少数のため、ぶれが生じている可能性はあります

(参考)

・総務省統計局 令和3年社会生活基本調査

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/kekka.html>

・12月アドバイザーレポート

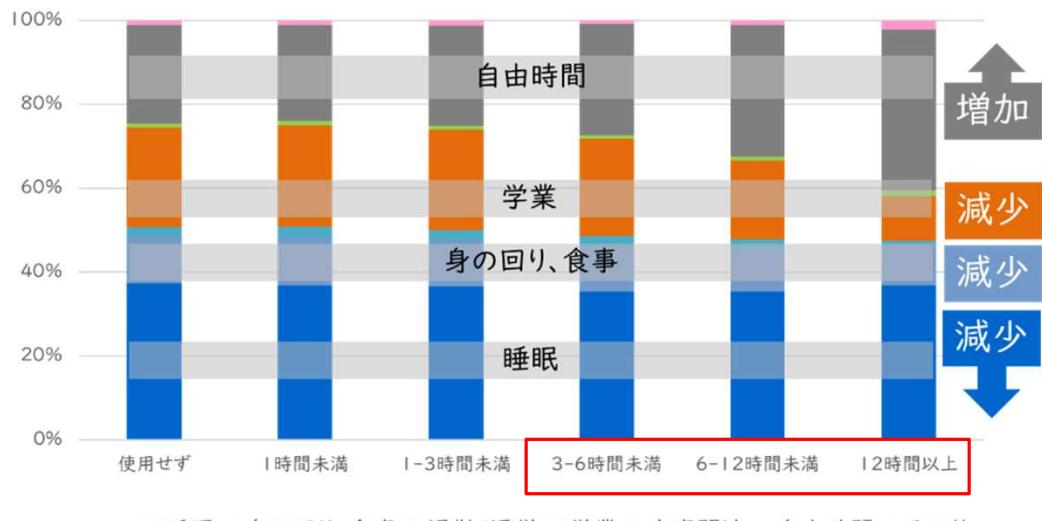
子供達のインターネットの利用時間はどのようにやりくりされるのだろうか(2024年公開版)

(出典: 2024年12月6日 YAHOO!ニュース)

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/d819b4457035634be2ceb102f8274ef3e7266513>

子どもたちの利用時間

■スマホ、パソコンの利用とライフスタイルの関係(10-14歳)



出典:総務省 令和3年社会生活基本調査「スマートフォン・パソコンなどの使用時間別生活時間」
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

★小中学校での講座実施時の投影資料です★

おおよそインターネットを使用する時間が長い人ほど、「身の回りの用事、食事」「睡眠」「仕事・学業」時間が減り、

その分「自由時間」が増えているのが分かります。

特に「仕事・学業」「身の回りの用事、食事」の減り方が顕著で、勉強や掃除、食事などもそこそこに、スマホやパソコンに時間を充てている様子が分かります。

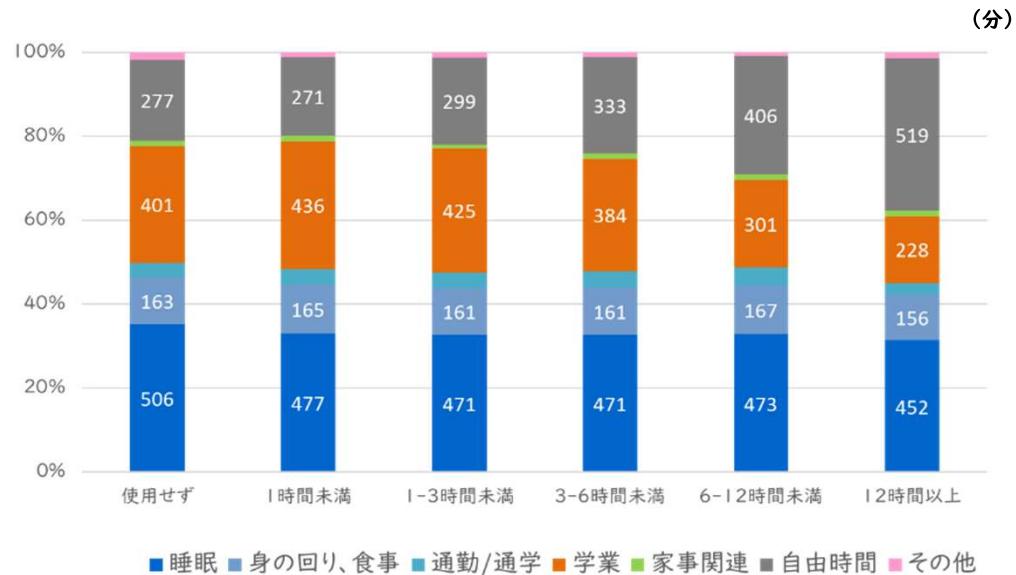
スマホの利用と健康の関連性については、さまざまな研究が始まり、

長時間のスマホ利用による成長そのものへの影響について示唆するさまざまな報告もあがってきています。参考としてみていく必要があるのではないでしょうか。

また子どもたちが夢中になりやすいオンラインゲームにおいては、長時間利用だけではなく、「高額課金」も問題になっています。

子どもたちの利用時間

■スマホ、パソコンの利用とライフスタイルの関係(15-19歳)



出典:総務省 令和3年社会生活基本調査「スマートフォン・パソコンなどの使用時間別生活時間」

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

★高校での講座実施時の投影資料です★

これは、総務省統計局の「令和3年社会生活基本調査」(最新)の結果を用い、スマホやパソコンなどの使用時間とライフスタイルの関係を示したものです。

横軸:スマホ、パソコンの利用時間、数値は週全体での平均時間(分)、男女総数

※1日平均時間別の、週全体における生活時間

1日12時間以上もインターネットを使う人はごく少数のため、ぶれが生じている可能性はあります…

(参考)

・総務省統計局 令和3年社会生活基本調査

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/kekka.html>

・12月アドバイザーレポート

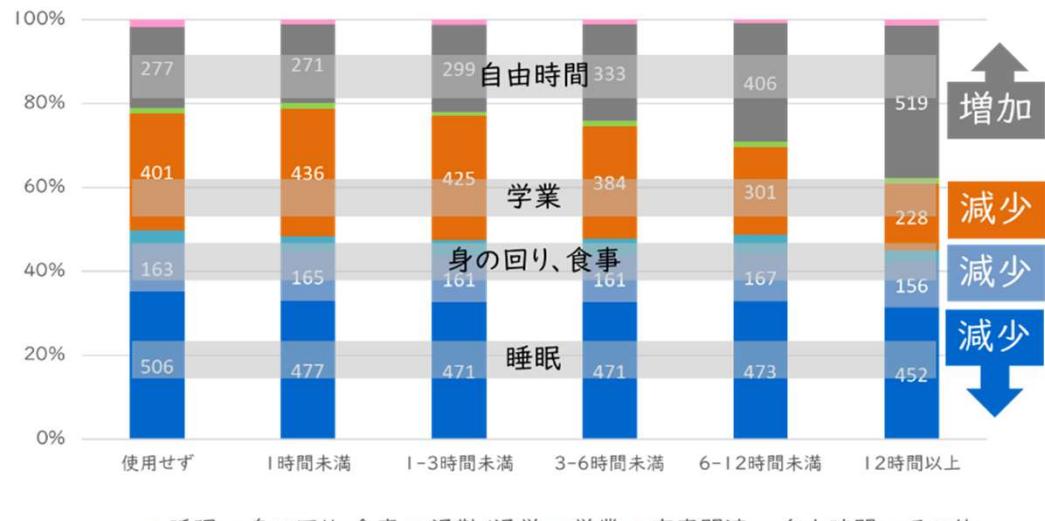
子供達のインターネットの利用時間はどのようにやりくりされるのだろうか(2024年公開版)

(出典: 2024年12月6日 YAHOO!ニュース)

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/d819b4457035634be2ceb102f8274ef3e7266513>

子どもたちの利用時間

■スマホ、パソコンの利用とライフスタイルの関係(15-19歳)



出典:総務省 令和3年社会生活基本調査「スマートフォン・パソコンなどの使用時間別生活時間」
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

★高校での講座実施時の投影資料です★

おおよそインターネットを使用する時間が長い人ほど、「身の回りの用事、食事」「睡眠」「仕事・学業」時間が減り、

その分「自由時間」が増えているのが分かります。

特に男子では、「仕事・学業」を、女子では「睡眠」を削っており、男女間でスマートフォンの利用で何が後回しにされるのか、その対象が異なる傾向がみられています。

スマホの利用と健康の関連性については、さまざまな研究が始まり、

長時間のスマホ利用による成長そのものへの影響について示唆するさまざまな報告もあがってきています。参考としてみていく必要があるのではないでしょうか。

また子どもたちが夢中になりやすいオンラインゲームにおいては、長時間利用だけではなく、「高額課金」も問題になっています。

オンラインゲームでの課金

■小中高校生の相談件数



出典:PIO-NETにみるオンラインゲームに関する相談のうち、契約当事者が小学生・中学生・高校生の相談件数
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これは国民生活センターへ小中高校生の保護者の方から、相談が寄せられた件数です。

ここ5年間で相談件数は倍増し、そのうちの多くが、「保護者の許可なく子どもが課金してしまった」という保護者からの相談になります。

また、1人当たりの課金(の契約)額も平均で約33万円(2022年度)で、100万円を超えるケースも少なくないそうです。

全年齢での相談件数は、8000件を超え、課金トラブルは増加傾向にあります。

(参考)

・子どものオンラインゲーム 無断課金につながるあぶない場面に注意!!

https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20240313_1.pdf

・オンラインゲーム(各種相談の件数や傾向)_国民生活センター(校種別でのデータ無し、全件数記載あり)

https://www.kokusen.go.jp/soudan_topics/data/game.html

年度(相談件数)2021年度(7,126件)、2022年度(7,219件)、2023年度(8,432件)、2024年度(769(前年同期 779))

※2024年5月31日現在

・子どものオンラインゲーム課金の問題について | 消費者法ニュース (clnn.org)

<https://clnn.org/cln/30746>

・子どものゲーム課金で高額請求、取り消しは可能？ 23万円の返金を求めた事例から
考える(東京新聞)

<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/education/78750/>



トラブルを防ぐポイント

子どもと共に

依存、課金の怖さ
ルールの話し合い

利用機器の機能を上手に使う

ネットの適切な
コントロールを

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

依存や高額課金は、ほんのちょっとのきっかけで誰でも起こりうるものです。他人事ではありません。

また、もし依存になってしまったら、もとの生活を取り戻すためには、多くの時間が掛かる可能性があります。そうならないために、ネットの利用を自らコントロールしていく必要があります。

コントロールするためには、やはり怖さをしっかりと知り、ルールを子どもと一緒に決め、守っていくことが重要です。

スマホなどに機能の一つとしてつけられている「時間制限」を利用するなど、利用している機器自体の機能の力を借りることも、コントロールしていくために有効な手段です。またスマホを無理やり取り上げるのではなく、自ら手放せるメリハリある生活習慣を身につけることも大切と言われています（※）。

睡眠、勉強、外遊び、家の手伝いなど、成長期の子どもにとって本来必要な時間もありますので、

これら必要な時間をまず確保し、余った時間をネットやゲームに使うなど、子どもが自らコントロールしていける力を付けられるよう、ぜひそれぞれのご家庭にあったルールを、子どもと話し合いながら作ってください。

また、年齢に応じて見直しも必要です。ネットに支配されることなく、適切な距離感をもって上手に使いこなしていけるよう、見守っていきましょう。

※子供の5人に1人がネット依存…自らスマホを手放す2泊3日「オンラインキャンプ」の効果

(出典：2024年11月1日 産経新聞)

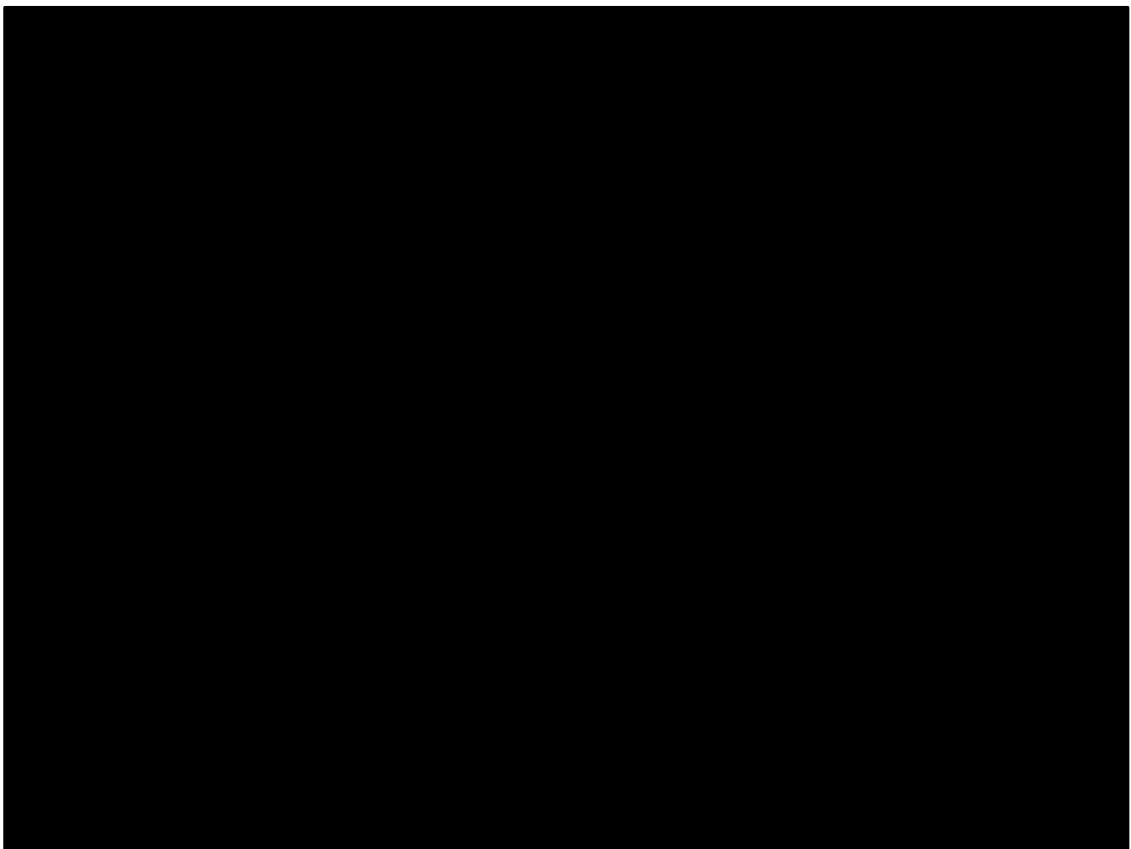
出会い・犯罪 こんなのは余裕

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

<「人間関係」「依存」「出会い系」「炎上」から深堀するテーマを選択して説明してください。

使わないスライドは、スライド一覧で右クリック「非表示スライドに設定」で表示スキップできます>

それでは出会い系の動画をご覧ください。



登場人物



ケンタ



ルビー

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

それでは動画の振り返りをしていきましょう。

振り返り

ライブに行きたい



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ケンタは、推しの「アイス姫」のライブに行くために、どうしてもお金がほしくなりました。

振り返り

バイト応募

バイト 高額



新着

高額バイト★5分で5000円!
10000円コースも選べます
高校生歓迎!



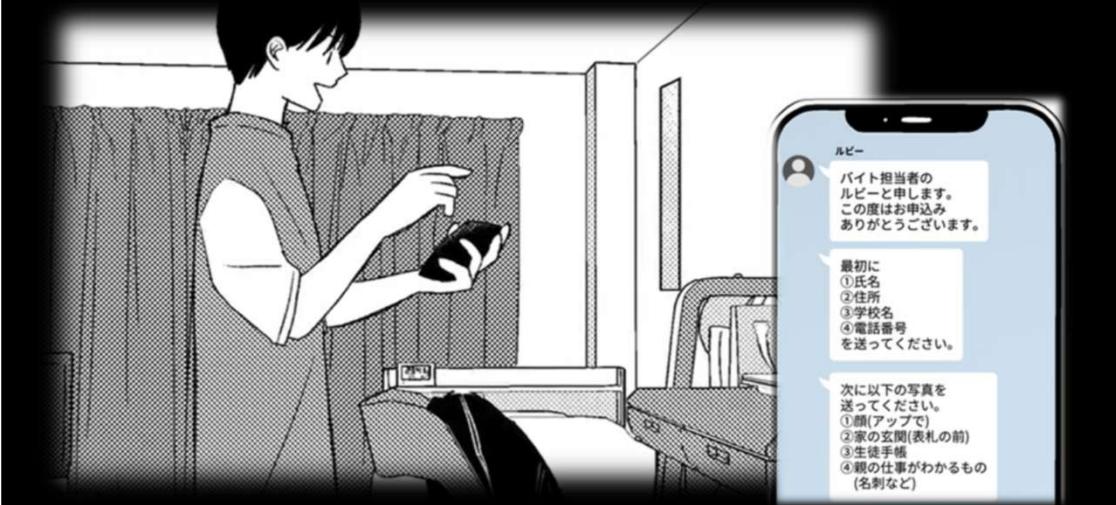
CM、口コミ ➡ 応募

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ネットで検索すると5分で5000円と短時間で高額なバイトを見つけました。
CMもあるし、口コミも良さそうだったので、さっそく応募しました。

振り返り

バイト応募



個人情報を渡す

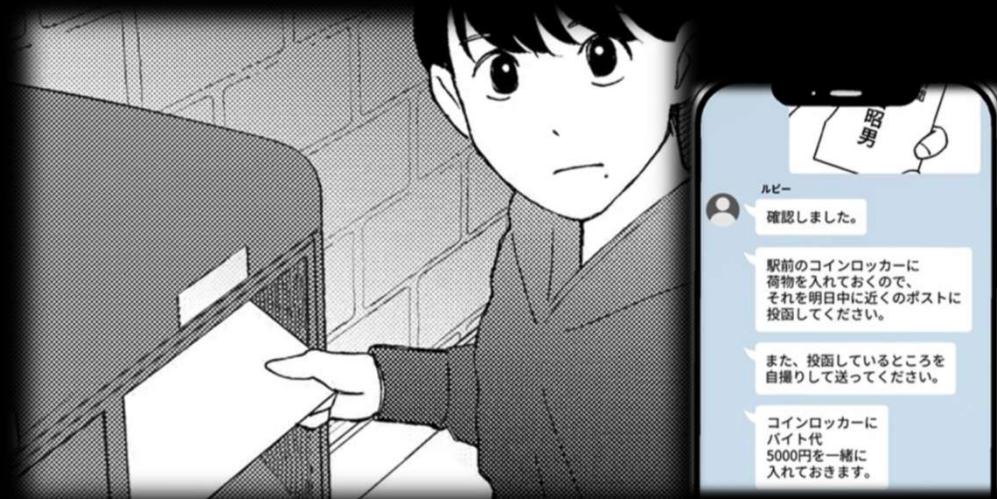
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ケンタは、言われるままに

名前、住所、電話などの個人情報と一緒に、お父さんの名刺の写真まで送りました。
バイトの面接と同じようなものと考えていましたね。

振り返り

簡単なバイト



荷物をポストに投函

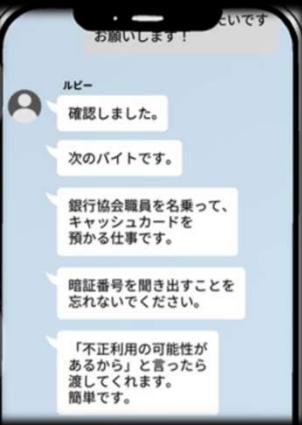
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

実際にやってみると、バイトはとても簡単で、荷物をポストに入れるだけで5000円がもらいました。

ケンタは簡単にお金が手に入る所以、もっと高額のバイトもしたくなり、連絡をします。すると…

振り返り

簡単なバイト



犯罪者?!

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

そのアルバイトは、キャッシュカードを預かり、暗証番号も聞き出す内容。

不安になったケンタは、もう辞めたいと伝えますが、「犯罪に手を染めている」と告げられました。

振り返り

簡単なバイト

脅し → 逃げられない

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

名前、住所、写真、親の会社の情報まで渡していることから、
ケンタは逃げることができないと思い…結局、更なる犯罪をおこない、逮捕されましたね。

皆さんもニュースで見たことがあるかと思いますが、いわゆる「闇バイト」です。
中高生が「バイト」に安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまい、大きな社会問題となっています。

ネットで知り合う人

ネットでやり取りすれば
知り合い？

ネットでのやり取りだけで
いい人かわかる？

Copyright @ 2024 KDDI Corporation. All Rights Reserved

「ネットでやり取りすればもう知り合い」、「ネットでやり取りすればいい人かどうかわかる」そんな風に考える子どもも少なくありません。

ですが…

ネットで知り合う人

ネットでやり取りすれば

本当に大丈夫？

いい人かわかる？

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ネットで知り合った人に対し、本当にそこまで信用して大丈夫でしょうか？

インターネットの世界



良い人ばかり
ではない

悪い人も…

簡単に信用しない

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

インターネットの世界には、良い人もたくさんいますが、悪い人もいます。
簡単に信用せず、十分に注意しなければなりません。

高額報酬のアルバイト（闇バイト）



高額報酬

即日即金

秘匿性のあるアプリ

脅され、抜け出せない

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

またいわゆる「闇バイト」は、

高額報酬、即日即金、ホワイト案件などで投稿し、応募した人に「シグナル」「テレグラム」などの秘匿性のあるアプリで連絡し、強盗などの犯罪をさせられるものです。犯罪実行者を募集しているようなものです。

もし応募してしまい、やめようすると脅され、抜け出せず、犯罪を重ねてしまう可能性が高くなってしまいます。

トラブル実例

男子中学生

「キャッシュカードをだまし取ろうとし、逮捕

女子高校生

「受け子」「出し子」を繰り返し、逮捕

男子中学生・高校生

住宅へ強盗に入ろうとし、家庭裁判所に送致

女子中学生

他人のキャッシュカードで現金引き出し、逮捕

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これは高額報酬(闇バイト)のトラブル実例です。(事例を読み上げる)

いずれもお小遣いが欲しい、割のいいバイト、先輩に誘われたという軽い気持ちで連絡をとり、騙されるなど、トラブルに巻き込まれています。

(参考)

1行目 : 地元の先輩から「闇バイト」に誘われた中学生、詐欺未遂容疑で逮捕...「クリスマスでお金必要だった」

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20241217-OYT1T50162/>

2行目 : 埼玉 女子高校生「闇バイト」応募し特殊詐欺関与の疑いで検挙

<https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20241213/1000112092.html>

3行目 : 中高校生ら3人 強盗予備罪で逮捕 11月アドバイザーレポートにも掲載あり

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7d297eb5368f692e7bd3c3c14e0642979aa8e347>
4行目

<https://www.asahi.com/articles/ASR1L3RW3R1LPTIL001.html?msockid=38c676bd4562680a1287626944066909>

※参考資料

トビラシステム 「闇バイト」に関する意識調査

<https://tobila.com/news/release/p1626/>

高額報酬のアルバイト（闇バイト）

将来への 大きな影響

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

闇バイトなどのアルバイトで犯罪者になってしまえば、自分自身の進学や仕事など、将来に大きな影響を及ぼします。

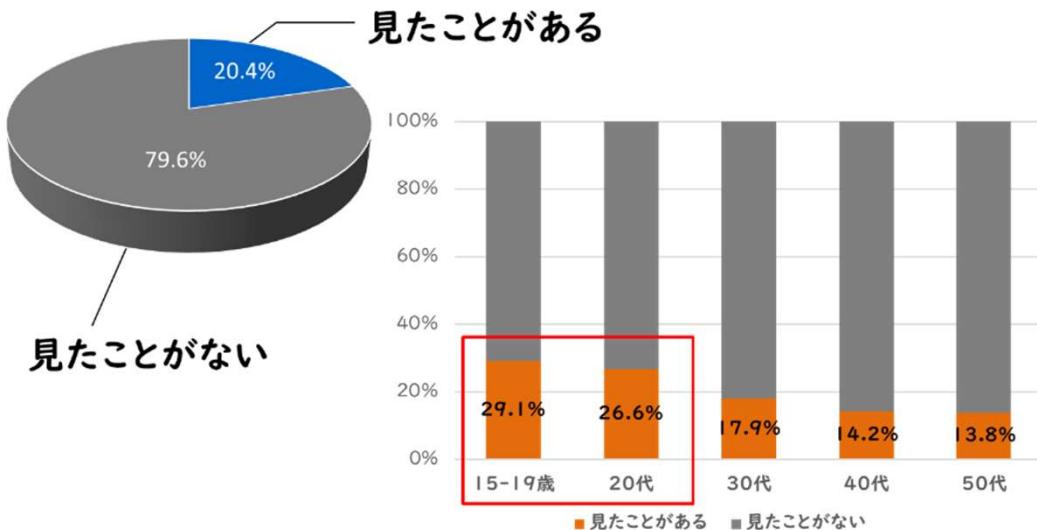
また自分だけではなく、自分の家族、そして被害者やその家族にも一生消えることのない深い傷を与えることになります。

そして他の人の人生を壊してしまったその償いをしていかなければなりません。

いくつかのデータをみていきましょう。

ネット上の接触

■ SNS、ネット上で「闇バイト」求人を見たことがあるか



出典:トビラシステム株式会社 「闇バイト」に関する意識調査

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これは、意識調査結果です。

闇バイトまたはそれと思われる求人をSNSやインターネット上で見たことがある人は、全世代で約20%です。

その20%の内訳では15歳～19歳で29.1%、20代で26.6%と、10代・20代は全体平均よりも割合が高く、

長時間SNSやインターネットの利用時間が長い10代、20代においては、闇バイトの求人に接する機会が多いといえます。

十分に注意をしていく必要がありますね。

<調査概要>

調査実施会社:トビラシステムズ株式会社

実施期間: 2023年11月17日～11月18日

有効回答数: 1,206人

調査方法: インターネット調査(Surveroidを利用)

抽出方法: インターネット調査用パネルからランダムに抽出

<https://tobila.com/news/release/p1626/>

<参考><https://tobila.com/news/report/p1726/>

特殊詐欺の状況

■検挙件数の推移



出典:警察庁 令和6年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について(暫定)

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

実際に、警視庁の特殊詐欺、いわゆる闇バイトの検挙件数においては、
令和6年は6,595件超の検挙があり、少年の検挙人員は425人で、総検挙人員に占める
割合は18.3%。

また、少年の検挙人員の67.8%が受け子で、受け子の総検挙人員(1,409人)に占める
割合は20.4%と、

受け子の5人に1人が少年です。

(参考)

令和5年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について

https://www.npa.go.jp/bureau/criminal/souni/tokusyusagi/hurikomesagi_toukei2023.pdf

SNSに起因する被害児童の現状

■SNSに起因する事犯の被害児童数



出典:警察庁まとめ 令和5年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

また、特殊詐欺以外にも、SNSが原因で事件に巻き込まれた18歳未満の児童は1,665人。そのうち97%がスマホから被害にあっています。

SNSで長期間にわたってやり取りし、仲良くなり、信用させてから呼び出すなど、段階を踏み、子どもたちが会いに行っても大丈夫という気にさせていく手口も使われています。



トラブルを防ぐポイント

子どもと共に

ネット上で信じる怖さ
ルールの話し合い
話せる環境づくり

いつでも疑う
困ったときはすぐ相談

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

10代の子どもたちにとって、大変身近なスマホやネット。

だからこそ、悪用する大人がいることをしっかりと認識させ、疑うこと・想像する力をつけさせなければいけません。

ネット上で知り合った人を安易に信じない、一人で会わないなどのルール作りや、犯罪事例などを共有し注意喚起を行っていきましょう。

また、もし困ったことがあったら、すぐに相談できるよう何かあった時にいつでも話せる環境づくりがを行っていきましょう。

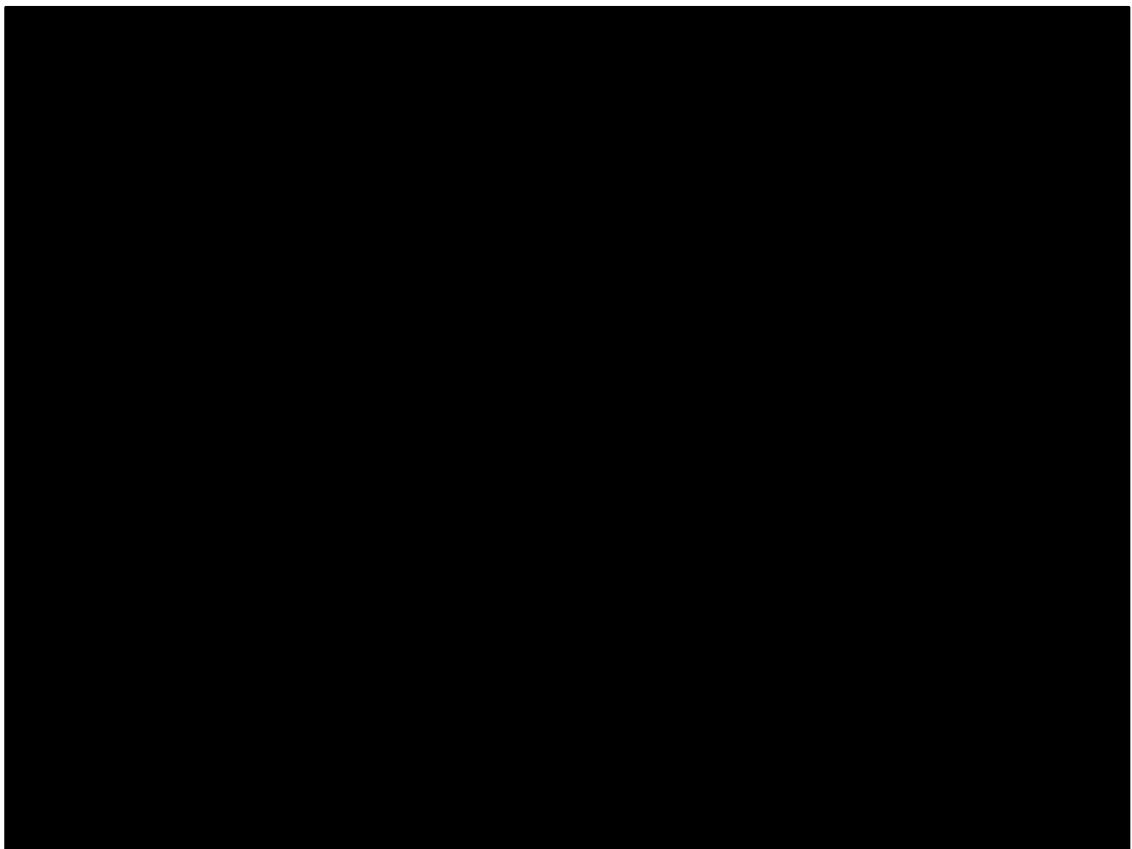
炎上など あの投稿が…

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

<「人間関係」「依存」「出会い・犯罪」「炎上」から深堀するテーマを選択して説明してください。

使わないスライドは、スライド一覧で右クリック「非表示スライドに設定」で表示スキップできます>

それでは炎上の動画をご覧ください。



登場人物



美樹



ルミエ



ケンゾー



ユキヤ

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

いかがでしたか？

それでは振り返りをしていきましょう。

振り返り

SNSで無断投こう

rumie_sns

↑ 大口女!!
力才笑える

みんなうどん食べに行ったー!
美味しかった

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

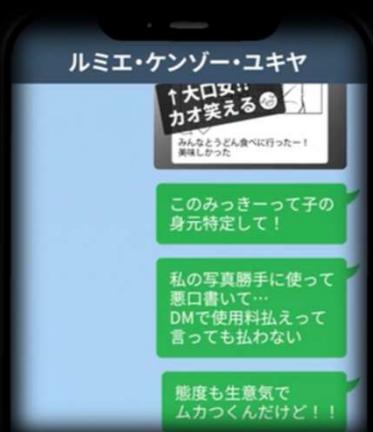
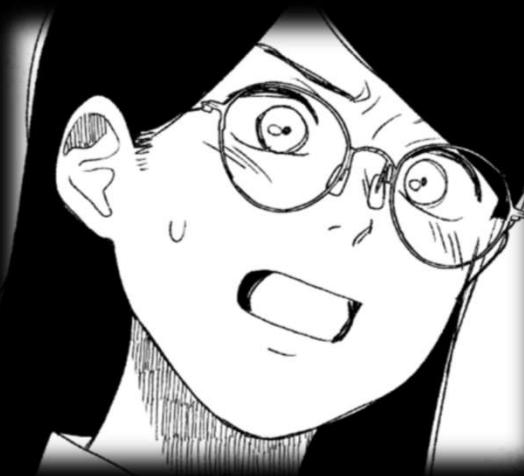
では、振り返ってみましょう。

美樹は、見知らぬ人の投稿写真を自分のSNSに無断で投稿しました。

その内容は相手を馬鹿にした悪口と捉えられるものでした。

振り返り

SNSで無断投こう



許せない



仕返し

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

自分の写真が使われ、さらに悪口まで書かれていることを知ったルミエは、投稿した美樹へダイレクトメールで抗議しましたが、らちがあかず。

許せない気持ちが強くなったルミエは、仕返しをしようと友だちに相談。

振り返り

投こう者の特定



そうしたところ友だちのケンゾーは、勝手に投稿した美樹を特定し、学校や所属している部活、父親の会社などの情報も調べました。

振り返り

写真の加工

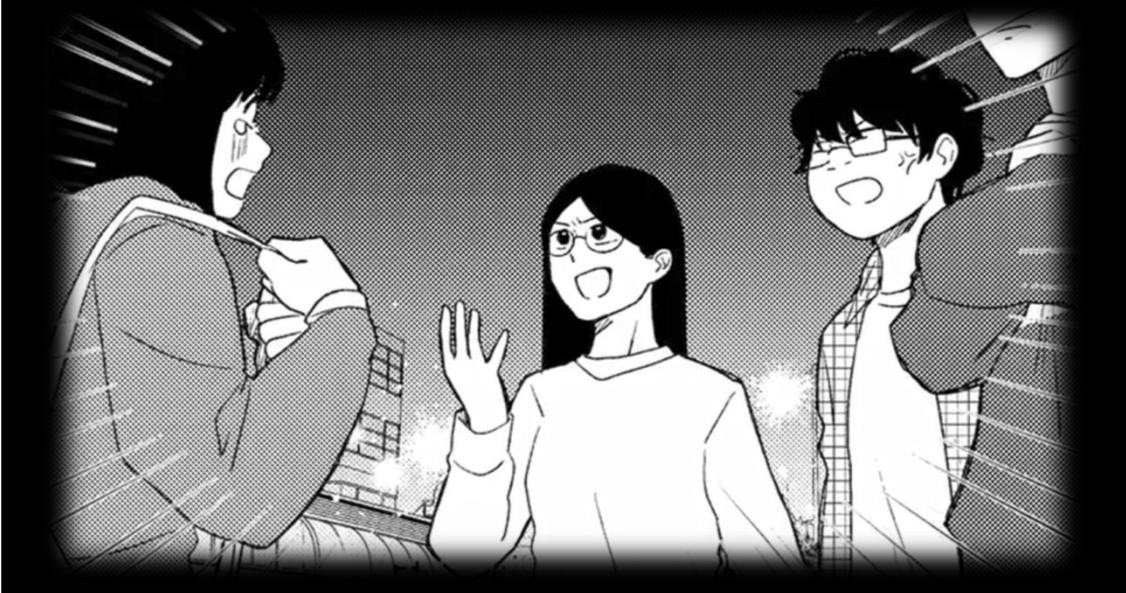


Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

さらに友だちのユキヤは、美樹が投稿している写真を加工し、勝手に写真を使った使用料を支払わせるための材料にしようと持ち掛けます。

振り返り

使用料の要求



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

仕返しをしたいルミエは、美樹の情報と加工した写真で使用料を要求。おどしですね。

振り返り

無断投こうで…



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

結局は、コンビニの店員に助けてもらい、お金を払うことはありませんでしたが、もし、助けがなかったらどうなっていたでしょうか。脅しが続いていたかもしれませんね。こういった脅しは、犯罪として罰せられる可能性がありますが、美樹も、無断で画像を使用し、悪口と捉えられる投稿をしたことで訴えられる可能性があります。

インターネットの世界



だれでも
見ることができる

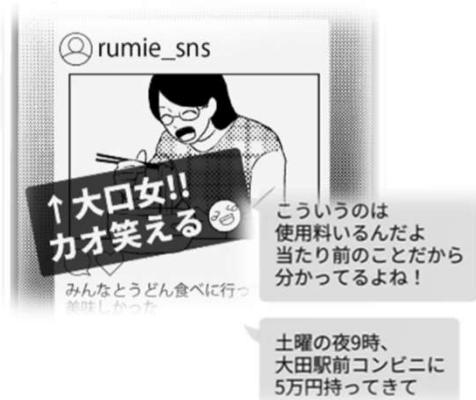
顔を出さない

エスカレートしやすい

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

インターネットの世界は 誰でも投稿した内容を見ることができます。
また名前や顔を伏せて投稿することが多いです。
そのために、無断で写真を使ってもわかるわけない、強いことを言っても大丈夫、と思
いがちです。
そうなると発言や行動がエスカレートしやすくなります。

インターネットの世界



特定される

訴えられ
有罪

犯罪になる可能性も

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ですが、投稿した人や投稿内容はすぐに特定することができます。

嫌な思いをしたり、被害にあった人が訴えることもあります。つまり犯罪になる可能性があるということです。

<参考_インターネット上の画像の無断使用に関するトラブル>

著作権侵害:他人が撮影した写真や画像を無断で使用することは著作権侵害となり、損害賠償請求や刑事罰の対象となる可能性があります。

1.肖像権侵害:自分の容姿や姿態を無断で撮影・公開されることは肖像権侵害となり、特に不名誉な形で使用された場合は深刻な問題となります。

2.プライバシー権侵害:私生活に関する情報を無断で公開することはプライバシー権侵害となり、画像に写っている人物が特定できる場合は特に問題となります。

これらの権利侵害に対する対処法としては、各SNSの運営会社への通報、発信者情報開示請求、損害賠償請求などがあります。

トラブルの実例

**男子中学生、女子高校生
動画の拡散により、逮捕・保護者へ賠償金**

女子高校生

写真の無断投稿でトラブル、殺害される

女子中学生

脅迫メール送付で、書類送検

男子中学生

脅迫メールの大量送付で、書類送検

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

これは実際のトラブル内容です。(1行目~4行目を読み上げる)

無断投稿のトラブルとともに、脅迫メールの送付で書類送検される事件も多く発生しています。

いずれもバレないだろうと思った、ストレスを解消したかった、自分は正しいなど、いずれも安易な投稿で悲惨な結果になってしまっているのではないか。どうか。

たとえ悩みやストレスを抱えていたとしても、その辛さから逃れるために、他者を傷つけていいことにはなりませんし、

相手に面と向かって言えない言葉や行動は、ネット上でも行うべきではありません。

(参考)

・1行目 性的動画を拡散、高校の元同級生の女性らに賠償命令(プライバシー権の侵害、児童買春・児童ポルノ禁止法違反容疑で書類送検)

<https://www.asahi.com/articles/ASN3T6GCJN3TOIPE01F.html>

女性教諭を中傷する動画をSNSに投稿...15歳の男子中学生を逮捕“名譽棄損”的疑惑、12歳の男子生徒も共謀か

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1562660>

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1564089?display=1>

・2行目 2024年旭川市で17歳の女子高校生が殺害される。

<https://www.uhb.jp/news/single.html?id=43269>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%AD%E5%B7%9D%E5%A5%B3%E5%AD%90%E9%AB%98%E7%94%9F%E6%AE%BA%E4%BA%BA%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

・3行目 12月アドバイザーレポート

東京・池袋の乗用車暴走事故で妻子を亡くした松永拓也さんに脅迫メールを送ったとして、警視庁が中学3年の14歳の女子生徒を東京地検に書類送検した。

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20241128-OYT1T50041/>

・4行目 芦屋の中3男子生徒、弁護士名指し脅迫メール9000通「殺害予告するとストレス解消」電子計算機損壊等業務妨害容疑

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20240312-OYT1T50239/>

どうすれば良い？



**× 無断投こう
会いに行く**

**○ よく考える
相談する**

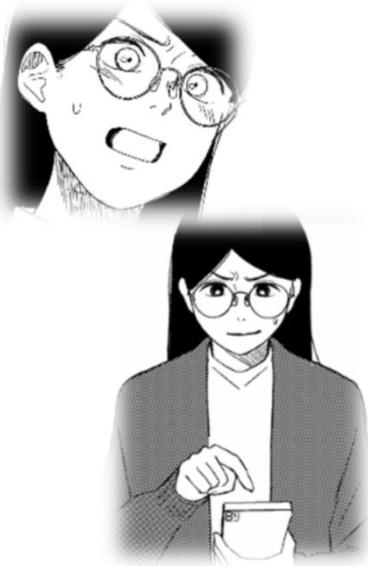
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

気軽に投稿するのではなく、それを見た人が嫌な気持ちにならないか、「本当に投稿していいか」考えてみる必要があります。

またお金を要求されるがままに、直接会いに行くのも正しい行動ではありません。

困ったときは、まずは信頼できる大人に相談できるよう、子どもたちに伝えてください。

どうすれば良い？



感情に
流される



冷静になる
よく考える

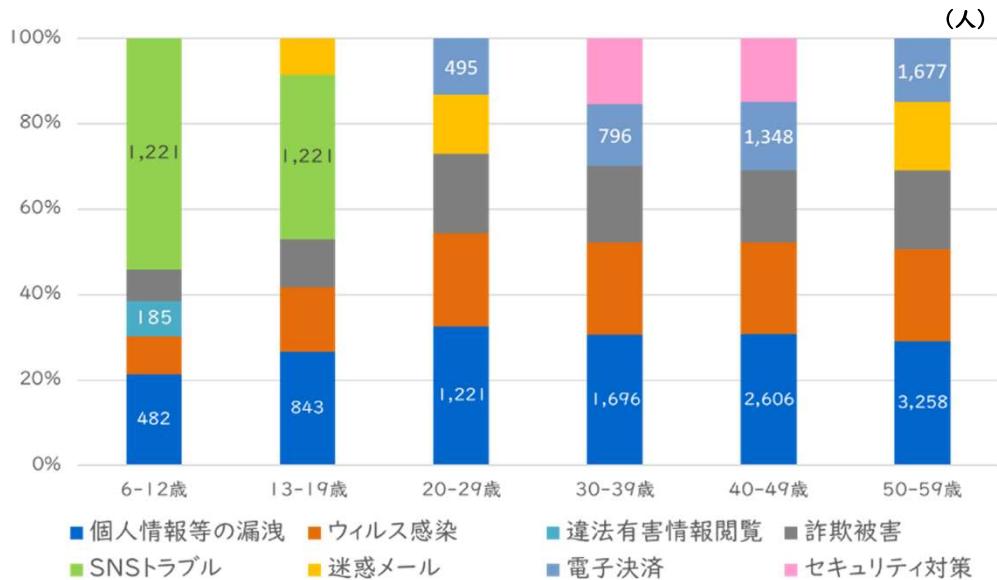
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

また一方で、許せない気持ちが抑えられず、友だちと一緒に脅しに発展もしていきました。

腹立たしい気持ちは分かりますが、感情がエスカレートする前に、
まずは冷静になって、「本当に正しい行動はなにか」を考えなければなりません。

インターネット利用で感じる不安

■インターネット利用で感じる不安の内容 上位5位(複数回答)



出典:総務省 令和5年通信利用動向調査の結果

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

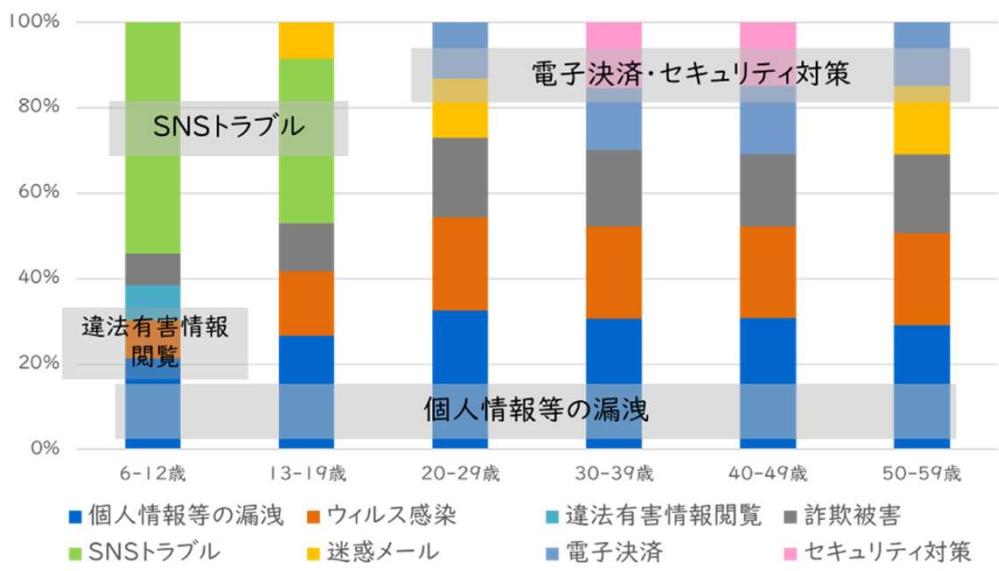
これは令和5年総務省が通信利用者の動向調査を行い、インターネット利用で感じる不安の内容の上位5位を集計したものです。

令和5年通信利用動向調査の結果

https://www.soumu.go.jp/johotsusintoeki/statistics/data/240607_1.pdf

インターネット利用で感じる不安

■インターネット利用で感じる不安の内容 上位5位(複数回答)



出典：総務省 令和5年通信利用動向調査の結果

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

不安の具体的な内容について年齢階層別にみると、どの階層も「個人情報 やインターネット利用履歴の漏えい」が最も高いです。

6歳～19歳では「SNSで相手とトラブルにならないか」、20歳～59歳 では「電子決済を信頼できるか」が不安の上位にあがっており、

また6歳～12歳でのみ「違法・有害情報や真偽 の不確かな情報を見てしまわないか」が上位に入っています。

私たち保護者世代とは異なるネット利用をしており、またそれによる不安を感じているということがわかるのではないでしょか。

動画やSNSの頻度が高い子どもたちは、それらを介して加害者にも被害者にもなる可能性が高いことを把握しておく必要があります。



トラブルを防ぐポイント

**安易な投稿の怖さを共有
加害者、被害者になる可能性
困ったらすぐに相談**

常にリスクを意識

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

このようなトラブルを防ぐためのポイントです。

子どもたちの中では、内輪ウケを狙う、自身の悩みやストレス解消、また『自分は正しい』『相手が悪いからやっている』など感情に任せ、安易に投稿しがちです。

ですがそれにより、重大な結果を招く可能性があることを、子ども自身がしっかりと認識していく必要があります。

送信ボタンを押す前に、この動画を投稿しても問題ないのか、自分の顔や名前を出しても公開できるものなのか、自問自答することが必要です。

そして、ネットでのトラブルは、時間が経つほど、取り返しがつかないことになり兼ねません。もし困ったことがあれば、すぐに大人に相談することを伝えてください。

SNSは手軽にメッセージのやり取りができる反面、使い方によっては相手を傷つける道具にもなります。

子どもたちは社会経験が少ない分、その危うさを十分に理解できていないケースもありますので、

もし犯罪につながってしまったらどうなるのか、その投稿一つで一生背負うかもしれないリスクを子どもがしっかりと意識できるよう、共有していきましょう。

本日の講座

1

子どもたちのネット利用の現状

2

子どもたちのトラブル

・トラブル実例のご紹介、リスク回避のポイント

3

ペアレンタルコントロール

・あんしんフィルターとスクリーンタイム

4

最後に

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

実際のトラブルをもとに、回避するためのポイントをご紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか？

ここからは、保護者が子どもの利用を把握し、ルールを守れるようサポートする「ペアレンタルコントロール」についてお話しします。

おさえるべきポイント

危険性を把握
子どもと共有

リスクを回避する
知識・ルール

子どもの
話し合いで

フィルタリング・スクリーンタイム
ペアレンタル
コントロール

話し合い、相談できる環境づくりを

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ここで、最初のお話を思い出してみましょう。

抑えるべきポイントは、最新アプリの名前や操作方法ではなく

「ネットにはどんな危険があるか」「何に気をつければ良いか」、まずはその危険性をしっかりと大人が知るということ。

そして、危険性や知識を共有し、話し合いながら、リスクを回避していくことの必要性について、「●つ」のトラブル事例をご覧いただきながら、ご説明いたしました。

おさえるべきポイント

危険性を把握
子どもと共有

リスクを回避する
知識・ルール

子どもの
話し合いで

フィルタリング・スクリーンタイム
ペアレンタル
コントロール

話し合い、相談できる環境づくりを

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

そしてもう一つの必要なポイントは、ルールが守れるようサポートする「ペアレンタルコントロール」でしたね。

ペアレンタルコントロール ルールをきちんと守れるよう サポートするツール

あんしんフィルター

ファミリーリンク

スクリーンタイム

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

このペアレンタルコントロールには、さまざまなものがあります。
サポートするツールとして携帯事業者各社などで提供している
Androidや一定基準のiOS以上のiPhone/iPadのスマートフォン/タブレットでご利用可能
な「あんしんフィルター」、
Androidで利用可能な「ファミリーリンク」、iPhoneで利用可能な「スクリーンタイム」など
があります。

※auのあんしんフィルターは、すべての機能を無料で提供しています。
※iOS9.0以上のiPhone/iPad、Android TM4.0以上のスマートフォン/タブレット

・「スクリーンタイム」は、一定基準のiOS以上のiPhone/iPadで利用可能です。
※iOS12.0以上のiPhone/iPad

サポートするツール

①使いすぎを防ぐ! *1

生活スタイルに合わせて、利用時間帯を設定できます。



au スクリーン タイム ファミリー リンク

②有害情報から守る! *2

お子さまにふさわしくないWEBサイトやアプリを自動的にブロックします。



au スクリーン タイム ファミリー リンク

保護者が個別に利用を許可することも可能です。
※iOSはWEBサイトの閲覧設定のみ可

③利用状況が分かる!

インターネットやアプリの利用状況を確認できます。

au WEBサイトの利用状況

ファミリー リンク スクリーン タイム アプリの利用状況

④居場所が分かる! *3

お子さまのいる周辺エリアを表示します。

au ファミリー リンク

フィルタリングで 子どもたちを守る

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

例としてauで提供しているサポートツール、フィルタリングをご紹介します。

auでは先ほどご紹介したサポートツールとして、あんしんフィルター、ファミリーリンク、スクリーンタイムをご提供しています。

あんしんフィルターでは、使い過ぎを防ぐ生活スタイルに合わせた利用時間帯の設定、年齢に合わせてカスタマイズでき、有害情報から守るWebサイト/アプリのフィルタリング機能がついています。

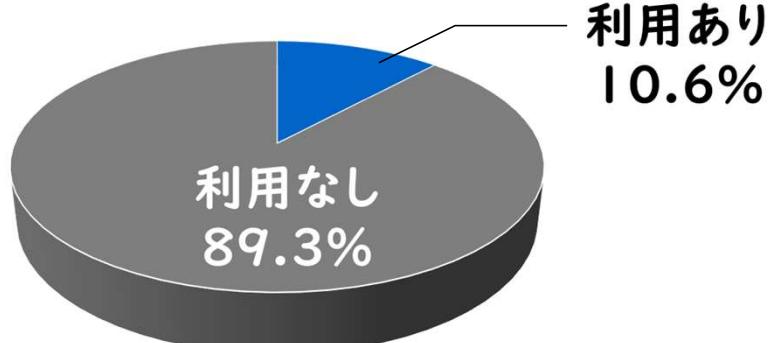
またネットやアプリの利用時状況の確認やGPS衛星の電波を利用したエリア検索でスマホの場所が確認できる機能もあります。

サービスの内容は、各携帯会社により異なりますので各社のホームページやショップでご確認ください。

子どもたちを守るために必要なフィルタリングサービスは、法令等により、18歳未満の青少年が利用する場合には、原則へ加入し、端末販売時に設定を行うことが義務付けられています。ですが、購入時に設定しても途中で外してしまうケースも多くあります。

SNSに起因の犯罪被害

■被害児童のフィルタリング利用



出典:警察庁 令和5年におけるSNS等に起因する被害児童の現状(令和6年3月)

被害児童は
フィルタリング利用率が低い

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

こちらは、コミュニティサイトに起因する被害にあった18歳未満の子どもフィルタリングの利用状況です。

被害児童の約9割がフィルタリングに加入していなかったことがわかります。

「外してほしい」などの子ども側の意見を聞き入れるだけではなく、必ず保護者の責務を果たせるかという観点で、必要性を判断しなければなりません。

サポートするツールはさまざまなものがありますので、ぜひ各ご家庭にあったものを選んで有効に活用してください。

インターネットの世界



インターネット上には、さまざまな情報が溢れています。
まるで大人の繁華街を、子どもが自由にウロウロ歩き回っているようなものです。
無防備なまま、自由に歩かせても、大丈夫でしょうか？

たとえ子どもにその気はなくても、至る所に危険なサイトへのリンクが仕掛けられています。
うっかり危ないサイトへ行ってしまうことも、十分にあり得ることです。
また、十分に意識をしていないとあっという間に長時間利用や高額課金などに陥る可能性があります。

インターネットの世界



今回ご紹介したような、子どもの利用状況を把握し制限する機能などを有効に利用することで、危険性や過剰な利用を大幅に低減できます。

年齢とともにフィルタリングも緩和ていき、十分に判断能力が育ったときに、フィルタリングを解除できることが理想です。

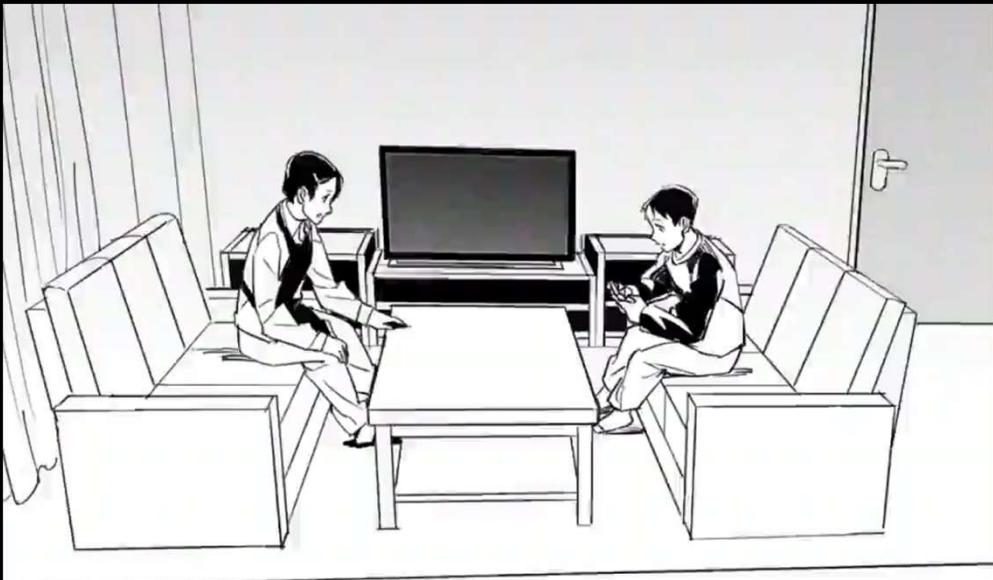
それまでは、親の責務として、適切な管理を行い、子どもが安心・安全に利用できるようサポートしていきましょう。

お配りしたリーフレットに、安心フィルターやスクリーンタイムの内容・設定などを記載していますので、ぜひご覧ください。

それでは最後に、時間制限機能を利用して子どもをサポートする好事例を紹介いたします。

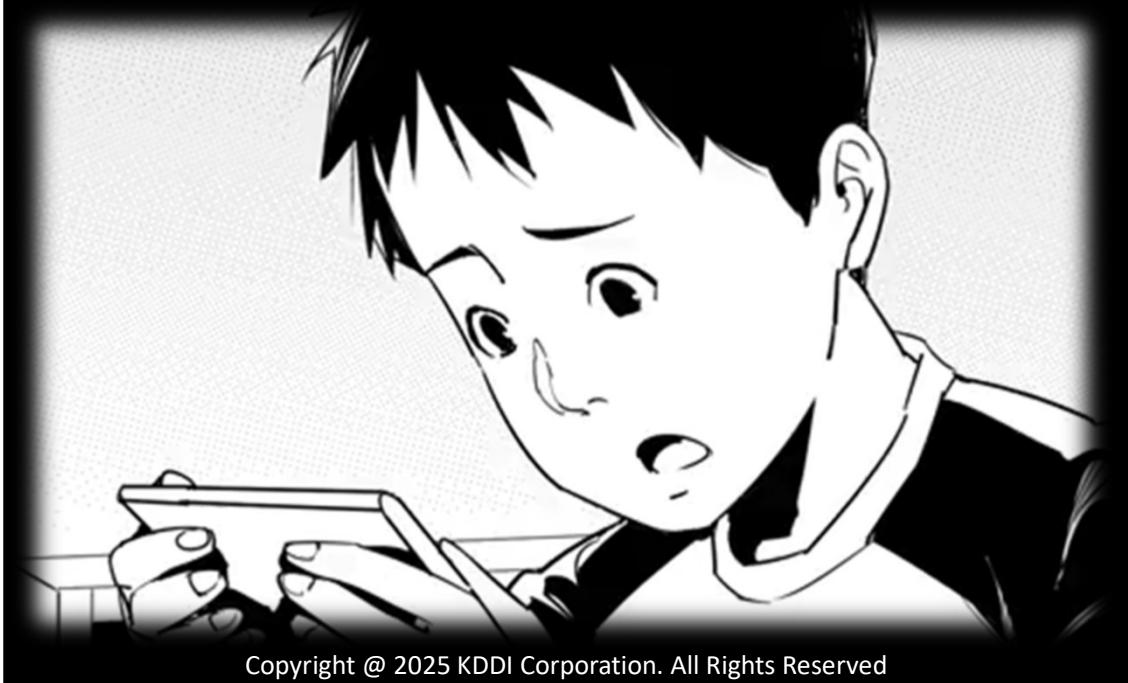
ルール作りの好事例

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved



振り返り

ゲームに夢中



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

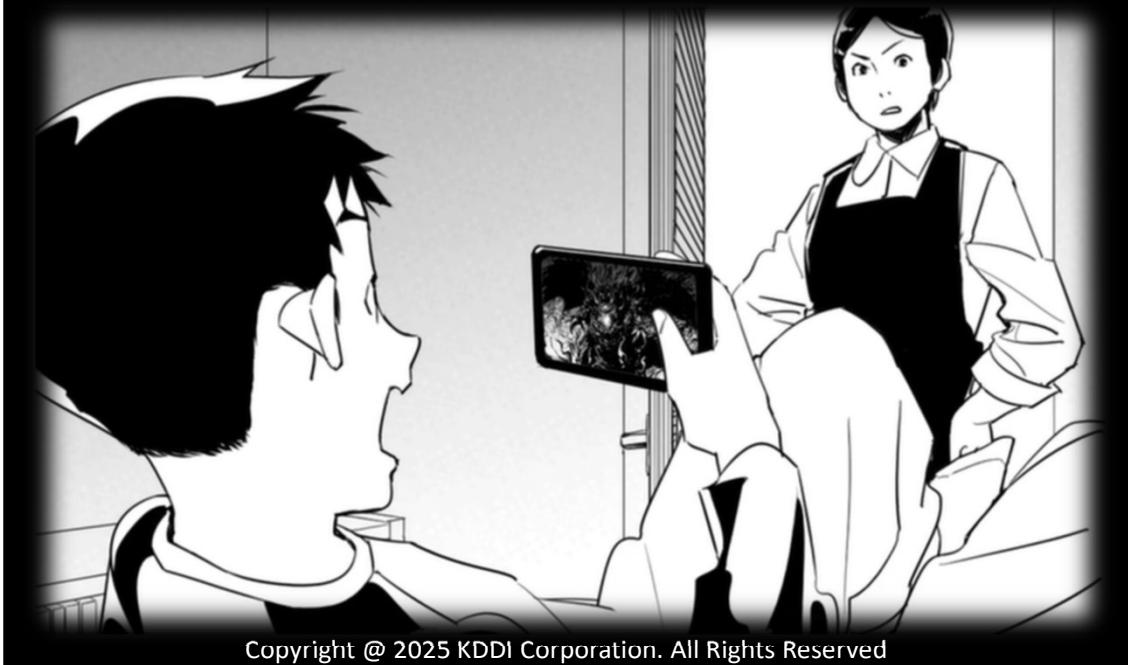
振り返りをしていきましょう。

次郎は、友だちと一緒にやっているオンラインゲームに夢中です。でもゲームのやりすぎで、成績が落ちていました。

自分だけやめれば友達に嫌われるかもと言う次郎に、お母さんもはじめは様子見でしたが…

振り返り

ゲームのやりすぎ



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

夜遅くまでゲームをやり続けている次郎の態度に、お母さんの堪忍袋の緒はついに切れてしまいました。

振り返り

ルール作り



話し合い → 9時にやめる

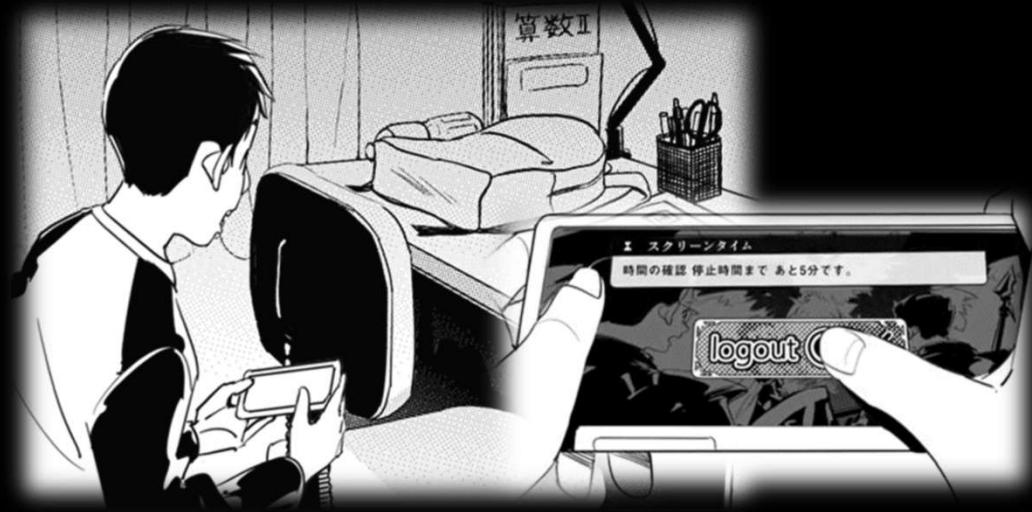
Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

次郎はしぶしぶながらも、家族と一緒に話し合い、ルールを作ることになりました。

ルールは、次郎のスマホについているスクリーンタイム機能を使い、家族と決めた時間の9時にゲームをやめるということでしたね。

振り返り

ルールを守る



やめる → 新たな気持ち

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

友だちにもルールのことを話し、決められた時間に次郎はゲームをやめることができました。

また、ゲームをやめることによってできた時間。勉強に向かおうという新たな気持ちも沸いたようでしたね。

振り返り

その結果…



Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

その結果、テストの点数があがるという良い成果が出ました。

こんなに上手くはいかないと思われる保護者の皆さんもいらっしゃるかと思います。必ずしも好成績につながる訳ではありませんが、「ルールを作り・守る」ということは、安全で適切なスマホ利用に確実に繋がっていきます。ある程度までは、保護者が子どものスマホ利用を管理していく事が必要となりますので、ぜひご家庭で話し合いルール作りをしていただきたいと思います。

ルール作りのポイントをご紹介します。



ルール作りのポイント

- ・親も子も納得
- ・無理のない設定
- ・定期的な見直しが必要

一方的な ルール設定はしない

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

ルール作りのポイントは、まずは保護者も子どもも納得できるものであること。そして、無理のないルールであることが大切です。

今回の動画のように、スマホの利用時間は、保護者としては、短い時間に設定させたいところだと思います。

ただ、学習アプリを利用している場合もありますので、やはり子どもの利用にあった無理のない設定が必要です。

親としても常時管理することは難しいかと思います。機器にある機能を上手く使うことで、スムーズに対応していくので、ぜひ有効に利用いただければと思います。

また、ずっと同じルールを利用し続けるのではなく、

子どもがルールを守っていると感じた時や、子どもの事情が変わってきたと感じた時には、話し合って柔軟に見直していく事も大切です。

話し合いにより互いに納得したルールで、安全に適切なスマホ利用を促していきましょう。

本日の講座

1

子どもたちのネット利用の現状

2

子どもたちのトラブル

・トラブル実例のご紹介、リスク回避のポイント

3

ペアレンタルコントロール

・あんしんフィルターとスクリーンタイム

4

最後に

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

本日の講座、いかがでしたでしょうか？

各ご家庭において、参考にしていただければ幸いです。

最後に、もしインターネットやSNSなどで困った時は、どうしたらよいのか、お話させていただきます。

もしものときは

証拠を
残して
すぐ相談

迷っている間に

拡散・深刻化

「絶対に守ってあげる」
日ごろから伝えましょう

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

インターネットのトラブルは、あっという間に拡散します。

またトラブルの多くは、子どもにとって、大人や学校に知られたくないことです。

バレたら怒られる、退学になるのではないかなどと、躊躇している間に深刻化してしまいます。

ですから、トラブルの証拠となる履歴や画面などを保存し、できるだけ早く大人に相談することが大切です。

トラブルになった時は一緒に解決方法を考えること、絶対に守ってあげることを日頃から伝えてください。

相談先として、各都道府県の警察本部や、法務省、消費生活センターなど、専門家が相談にのってくれる窓口があります。

詳細は、お配りするリーフレットに載っていますので、ご確認ください。

スマホ・ケータイ 子どもをサポートし 正しく、賢い利用を

本日は受講いただき、ありがとうございました

制作

KDDI 株式会社
沖縄セルラー電話株式会社
KDDIグループ共済会

監修

兵庫県立大学 教授 竹内和雄
ソーシャルメディア研究会

Copyright @ 2025 KDDI Corporation. All Rights Reserved

スマホ・ケータイは、とても便利な「道具」です。

子どもたちが「道具」に振り回されることなく、正しく、賢く、使いこなしていくためには、保護者の皆さまのサポートが大変重要になってきます。

本講座が、各ご家庭におけるルールやフィルタリングの状況など、お子さまのスマホ・ケータイ環境について改めて考えて頂くきっかけになれば幸いです。

本日は、受講いただき誠にありがとうございました。